

# 音 樂

教 育 出 版  
教 育 芸 術 社

教科・種目名 音楽・器楽

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名			
		1 7 教 出		2 7 教 芸	
		音 楽	器 楽	音 楽	器 楽
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇学習指導要領の示す音楽科の目標に従い、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育むことを基本に題材構成を工夫し、題材のねらいを明確に示している。</li> <li>◇学習の見通し、音楽文化の理解、音楽を愛好する心情を重点として、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを基本に全体構成している。</li> <li>◇様々な音楽の共通性と固有性を考えることを重視した構成である。</li> <li>◇二次元コードから動画などの資料へのアクセスが容易であり、個別最適な学習に適する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇学習指導要領の示す音楽科の目標に従い、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育むことを基本に題材構成を工夫し、器楽活動を通して、技能や表現など、題材のねらいを明確に示している。</li> <li>◇器楽教材と共に、歌唱教材、鑑賞教材、創作教材を記載し、表現と鑑賞の関連を図っている。名曲旋律集は鑑賞教材の主旋律を抜粋し名曲に親しむ工夫をしている。</li> <li>◇様々な楽器の共通性と固有性を考えることを重視した構成である。</li> <li>◇二次元コードから動画などの資料へのアクセスが容易であり、個別最適な学習に適する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇学習指導要領の示す音楽科の目標に従い、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育むことを基本に題材構成を工夫し、題材のねらいを明確に示している。</li> <li>◇生活や社会の中の音や音楽との関わりを重点として学年別にテーマを設け、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを基本に全体構成している。</li> <li>◇音や音楽が生活や社会、文化と関わる意味や価値を考えることを重視した構成である。</li> <li>◇二次元コードから動画などの資料へのアクセスが容易であり、個別最適な学習に適する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇学習指導要領の示す音楽科の目標に従い、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育むことを基本に題材構成を工夫し、器楽活動を通して、技能や表現など、題材のねらいを明確に示している。</li> <li>◇器楽教材と共に、歌唱教材、鑑賞教材、創作教材を記載し、表現と鑑賞の関連を図っている。後半のアンサンブルで「春」や「ブルタバ」などの鑑賞教材を扱い、名曲に親しむ工夫をしている。</li> <li>◇楽器演奏が生活や社会、文化に与える意味や価値を考えることを重視した構成である。</li> <li>◇二次元コードから動画などの資料へのアクセスが容易であり、個別最適な学習に適する。</li> </ul>
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇育成を目指す三つの資質・能力に基づいて、題材の目標・教材・学習活動・〔共通事項〕の音楽を形作っている要素を「学習MAP」に掲載し、一体的に示している。</li> <li>◇音楽に関する用語や記号を教材ごとに示し、巻末に楽典として再掲している。</li> <li>◇「Sing! Sing!」や「Active!」、「Let's Try!」などのコーナーで、発声、演奏形態、指揮法、音階などの多彩な記事を掲載し、技能の習得を図る紙面を工夫している。</li> <li>◇「音のスケッチ」で音楽創作の課題を示し、「リズムの組み合わせ」や「平調子の特徴」などの条件設定及び創作の道筋を記載し、キャラクターが吹き出しの助言でガイドしている。</li> <li>◇二次元コードから模範演奏を視聴したり、音楽創作ツールにアクセスしたりして技能習得を図る配慮をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇育成を目指す三つの資質・能力の育成に基づいて、題材の目標・教材・ねらいを見開きページで一体的に示している。</li> <li>◇巻末に楽典を記載し、基礎・基本の内容を確認できる配慮をしている。</li> <li>◇楽器の奏法について適切な文章や楽譜（五線譜と縦譜）、写真などを用いて基礎的な技能の定着を図っている。</li> <li>◇「音のスケッチ」で各楽器の創作課題を示し、文章で創作の道筋をガイドしている。箏による創作は縦式楽譜に記入できる紙面を工夫している。</li> <li>◇二次元コードから模範演奏を視聴したり、音楽創作ツールにアクセスしたりして技能習得を図る配慮をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇育成を目指す三つの資質・能力に基づいて、題材の目標・教材・学習活動・〔共通事項〕の音楽を形作っている要素を「学習内容」として掲載し、一体的に示している。</li> <li>◇音楽に関する用語や記号を教材ごとに示し、巻末に「音楽の約束」として再掲している。</li> <li>◇「学びのコンパス」で発声や音楽表現について考えたり、指揮法、生活や社会の中の音楽などとの関連を考えたりする紙面を工夫している。</li> <li>◇「My Melody」「Let's Create!」で音楽創作の課題及び道筋を示し、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図っている。</li> <li>◇二次元コードから模範演奏を視聴したり、音楽創作ツールにアクセスしたりして技能習得を図る配慮をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇育成を目指す三つの資質・能力に基づいて、題材の目標・教材・学習活動・音楽を形作っている要素を「学習内容」として掲載し、一体的に示している。</li> <li>◇巻末に「音楽の約束」を記載し、基礎・基本の内容を確認できる配慮をしている。</li> <li>◇楽器奏法について適切な文章や楽譜（五線譜と縦譜）、写真などを用いて基礎的な技能の定着を図っている。</li> <li>◇「My Melody」で箏による創作課題を示し、縦式楽譜に直接記入できるよう紙面を工夫している。</li> <li>◇二次元コードから模範演奏を視聴したり、音楽創作ツールにアクセスしたりして技能習得を図る配慮をしている。</li> </ul>
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇曲にふさわしい音楽表現を創意工夫する課題を提示したり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わうワークシートを設けたりして言語活動の充実を図っている。</li> <li>◇教材に応じて焦点化した発問やアドバイスをキャラクターが吹き出しで示し、「Sing! Sing!」や「ACTIVE!」「Let's Try!」「話し合おう」などで思考を促す記入欄を設けている。</li> <li>◇イメージを膨らませるために、表現の工夫の着目点を簡潔に示している。</li> <li>◇「比べてみよう」のマークで教材の共通性と固有性を比べて理解を深める工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「表現の仕方を調べてみようPART-1」及び「PART-2」に「聴いてみよう」「話し合おう」のマークを付し、言語活動の充実を図っている。</li> <li>◇「表現の仕方を調べてみよう」などのコーナーで共通性と固有性を考えて記入できる枠を設けてまとめを交流できるように紙面を工夫し、言語活動の充実を図っている。</li> <li>◇プラスマークの「深めてみよう」のコーナーで発展的な各種奏法を示し、鑑賞教材と関連させて、各種奏法の効果性を考える工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇曲にふさわしい音楽表現を創意工夫する課題を提示したり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わうワークシートを設けたりして言語活動の充実を図っている。</li> <li>◇教材に応じて焦点化した発問やアドバイスをキャラクターが吹き出しで示したり、演奏者からのアドバイスを掲載したりして、「学びのコンパス」「My Melody」「Let's Create!」などで思考を促す記入欄を設けている。</li> <li>◇楽曲の紹介文や活動文を示し、理解しながら表現力を高める工夫をしている。</li> <li>◇音楽を形作っている要素を各教材に例示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「考えさせたいポイント」の「問いかけ」で課題を示したり、「学びのコンパス」で、器楽表現の工夫について二次元コードと共に文章で示したりして言語活動の充実を図っている。</li> </ul>

教科・種目名 音楽・器楽

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名							
		1 7 教 出		2 7 教 芸					
		音 楽	器 楽	音 楽	器 楽				
<p>(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮</p> <p>別表 4</p>	<p>◇主体的・対話的で深い学びを実現するための学習の見通しを「ACTIVE!」、「比べてみよう」「深めてみよう」に示している。</p> <p>◇キャラクターが学習のヒントや考えるきっかけを与え、生徒の気付きや思考を促し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて工夫をしている。</p> <p>◇「ACTIVE!」「作者の思いにふれる」など、生徒が意識的に考え、対話する紙面を工夫している。</p> <p>◇「私たちとの暮らしと音楽」などに関連する記事を取り上げ、音楽の働きや役割、自然や社会とのつながりに気付いて学びが深められる課題を提示している。</p>	<p>◇主体的・対話的で深い学びを実現するために唱歌や演奏者の言葉を示している。</p> <p>◇「表現の仕方をくらべてみよう」で楽器のしくみや特徴に着目し、「話し合おう」で意見交流を通して器楽の学習を深めるよう工夫している。</p> <p>◇巻末に、主体的に学ぶことができるリコーダー運指表、ギターコードダイヤグラムなどを楽器別に4ページの折り込みページで挿入している。</p>	<p>◇主体的・対話的で深い学びを実現するための手順や手立てをワークシートや体験活動に示している。</p> <p>◇キャラクターが学習のヒントや考えるきっかけを与え、生徒の気付きや思考を促し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて工夫している。</p> <p>◇「音楽って何だろう?」「生活や社会との関わりによどのような意味や価値を持つか」など、生徒が意識的に考え対話する紙面を工夫している。</p> <p>◇「生活や社会の中の音楽」のコーナーで各学年に応じたテーマを基に音楽の働きや役割、自然や社会とのつながりに気付いて学びが深められる課題を提示している。</p>	<p>◇主体的・対話的で深い学びを実現するために唱歌や演奏者の言葉を示している。</p> <p>◇「学びのコンパス」では、曲に対する考えを持ち、他者との意見交流を通して器楽の学習を深めるよう工夫している。</p> <p>◇巻末に、主体的に学ぶことができるリコーダー運指表、ギターコードダイヤグラムなどを各2ページずつ見開きで4ページに記載している。</p>					
					<p>(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い</p> <p>別表 5</p>	<p>◇器楽表現と鑑賞の関連を図ったり、また、音の三要素、音量、音高、音色について記載している。</p> <p>◇コンピュータでの音楽録音、制作・配信等について「コンピュータで表現しよう」「コンピュータと音楽」のページに記載している。</p>	<p>◇発展の印で表記し、世界の楽器の文化や伝統について考えを深めるように工夫している。</p> <p>◇コンピュータでの音楽制作や配信等については記載していない。</p>	<p>◇Challenge、番外編など発展的な学習内容や知識などを提供している。</p> <p>◇コンピュータでの音楽制作や配信等については記載していない。</p>	<p>◇ページの下部に枠を組み、こぼればなしやミニ知識を記載している。</p> <p>◇コンピュータでの音楽制作や配信等については記載していない。</p>



教科・種目名 音楽・器楽 調査研究事項

別表 1

調査項目		発行者名			
		1 7 教出		2 7 教芸	
		音 楽	器 楽	音 楽	器 楽
内容を 示す 教材名 や数・ 印・ 表記 など	目標・構成	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇学習指導要領音楽科1年及び2・3年の目標と内容に基づいて教材を精選し、全教材に渡って育成を目指す資質・能力の三つの柱に基づいた学習目標を明記している。</li> <li>◇学習指導要領の指導内容を適切に配置しながら、3年間の指導内容の系統性を保って題材構成を工夫している。</li> <li>◇学習指導要領音楽科の目標の柱書に示す音楽と生活及び社会や文化等とのつながりや音楽の価値を考える題材を「音楽のチカラで人と釈迦を未来へつなぐ」「劇場・音楽堂へ行こう」等で示し、全体に配置している。</li> </ul> <p>構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇全体構成として歌唱教材を前半に、創作題材を中間に、鑑賞教材を後半に、最後に合唱教材を配置している。紙面構成として教材ごとに見開きページで示し、題材名を左端に縦帯で示し、教材名を左上に配置して、具体的な教材のねらいを示し、右下に音楽記号等を付して一体的に示している。また鑑賞教材は、右端に縦帯で年表を付している。</li> </ul>	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇学習指導要領音楽科の器楽分野と創作分野の1年及び2・3年の目標と内容に基づいて器楽教材及び創作題材を精選しながら、各楽器の基礎的な奏法を動画や写真等で分かりやすく示している。</li> <li>◇学習指導要領音楽科の目標の柱書に示す音楽と生活、社会、文化等とのつながりや音楽の価値を題材を「音楽のチカラで人と社会と未来へつなぐ」のコーナーで提示している。</li> </ul> <p>構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇全体構成として前半に、リコーダー・篠笛・尺八の順に管楽器、ギター・箏・三味線の順に弦楽器、太鼓の打楽器と管弦打の順で並べて各楽器ごとに難易度順に教材を配置し見開きページで示している。紙面構成は左上に題材名、各教材ごとに学びのポイントを提示し見開きページの最後に“まとめの曲”を配置して学習の見通しが立てられる配慮をしている。後半にアンサンブル教材を置き、「音のスケッチ」で創作活動を提示している。</li> </ul>	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇学習指導要領音楽科の1年及び2・3年の目標と内容に基づいて教材を精選し、全教材に渡って育成を目指す資質・能力の三つの柱に基づいた学習目標を明記している。</li> <li>◇学習指導要領の指導内容を適切に配置し3年間の指導内容の系統性を保って題材構成を工夫している。</li> <li>◇学習指導要領音楽科の目標の柱書に示す音楽と生活、社会、文化等とのつながりや音楽の価値を考える題材を「音楽って何だろう」「生活や社会の中の音や音楽」等で示し、全体に配置している。</li> </ul> <p>構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇全体の構成として、歌唱教材を前半に、創作題材を中間に、鑑賞教材を後半に、最後に合唱教材を配置している。紙面構成として教材ごとに見開きページで示し、題材名と音楽を形づくっている要素をまとめて左端に縦帯で示し、教材名を左上に置いて具体的な教材のねらいを付し、一体的に示している。</li> </ul>	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇学習指導要領音楽科の器楽分野と創作分野の1年及び2・3年の目標と内容に基づいて器楽教材及び創作題材を精選しながら、各楽器の基礎的な奏法を動画や写真等で分かりやすく示している。</li> <li>◇学習指導要領音楽科の目標の柱書に示す音楽と生活、社会、文化等とのつながりや音楽の価値を考える題材を「音楽って何だろう」の題材で提示している。</li> </ul> <p>構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇全体構成として前半に、リコーダー・ギター・箏・三味線・太鼓・篠笛・尺八・打楽器の順に楽器を配置して各楽器ごとに難易度順に見開きページで示している。リコーダーは、LESSON1から LESSON4まで順に示し、アルトとソプラノの両方の楽器に対応できるよう二種類の楽譜を並記している。後半にアンサンブルセミナーを置き、紙面構成として左端に縦帯で題材目標と音楽を形づくっている要素を示し、「学びのコンパス」で対話的な活動を支援している。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇目次において歌唱・鑑賞・創作の分野別に赤・緑・青の3色に色分けして、分野名を白抜き、教材名を黒色で示しながら分野別にページ番号順に示し、全ページに渡って各教材と分野を統一色で示し、教材と分野を関連付けて示している。</li> <li>◇目次に続く見開きページに題材構成（学習MAP）を配置して主要教材を分野別に統一色の帯で示し、「育成を目指す資質・能力」と「教材名」及び領域・分野の相互の関係性を示している。また、「学習の進め方 How to Study」では音楽を形作っている要素等を示しながら〔共通事項〕を軸にした学習の進め方が視覚的に捉えられるよう構成を工夫している。</li> <li>◇音楽を形づくっている要素は、〈学習の進め方〉と〈どんな特徴があるかな？〉のページに整理して示し、その働きを意識しながら学ぶことができるよう配慮している。</li> <li>◇各教材の新出の音楽記号等を右下に示して〔共通事項〕を意識付ける工夫をしながら巻末には楽典や音楽年表を配置して学びを振り返る工夫をしている。</li> <li>◇男女2名の教師役のキャラクターによる教材の説明やアドバイス、男女2名の生徒役のキャラクターによる疑問や気付きを吹き出しで示し、主体的な課題解決のきっかけとなるよう工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇目次において、前半を「演奏の仕方を身につけよう」、後半を「合わせて合奏しよう」に分けて教材を構成し、見出しは楽器ごとに色別で表示している。</li> <li>◇目次に続く見開きページで題材構成及び学習内容等を示している表はない。</li> <li>◇音楽を形づくっている要素は、「音のスケッチ」のロゴで旋律やリズム等に関する課題を提示して考えるヒントを示し、巻末に「いろいろな用語、記号」として楽典事項を配置している。</li> <li>◇「+深めてみよう」のコーナーを設け、技能の習熟度に合わせ、発展的な奏法を示している。</li> <li>◇男女の教師役や男女の生徒のキャラクターによる教材の説明やアドバイスを示し、主体的な課題解決のきっかけとなるよう工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇目次において白色を背景にして教材名を黒色で、ページ番号順に示しながら、全ページに渡って赤・緑・青の3色の縦棒のアイコンで分野別に統一色で示し、教材と分野を関連付けて示している。</li> <li>◇目次に続く見開きページに題材構成（学びの地図）を示し、縦軸を三つの資質・能力、横軸を分野別に3色で配置し、資質・能力と学習内容との関係をマトリックス表で明確に対応させ、各分野の表下に教材を並べて、1年間の学習内容を視覚的に捉えられるよう構成を工夫している。</li> <li>◇音楽用語や音楽記号は、教材の楽譜の外に示し、音楽における働きと関わらせて理解できる工夫をし、巻末資料「音楽を形づくっている要素」「音楽の約束」等で〔共通事項〕とその働きをまとめて示している。</li> <li>◇学習したことを振り返って確認できるよう巻末に「音楽の学びを振り返ろう」や「音楽の約束」で提示している。</li> <li>◇男女2名の教師役のキャラクターによる教材の説明やアドバイス、男女2名の生徒役のキャラクターによる疑問や気付きを吹き出しで示し、主体的な課題解決のきっかけとなるよう工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇目次において、前半を「演奏の仕方を身につけよう」、後半を「合わせて合奏しよう」に分けて教材を構成し、見出しは楽器ごとに色別で表示している。</li> <li>◇目次に続く見開きページに器楽と創作の分野における題材構成を示し、縦軸を三つの資質・能力、横軸を器楽と創作の分野別に2色で示し、資質・能力と学習内容との関係を表で対応させて学習内容を捉えやすい工夫をしている。</li> <li>◇巻末に「音楽の約束」のページを設けて、楽典の内容を示し、後半のアンサンブルセミナーでは、各ページに題材目標と共に音楽を形づくっている要素を示している。</li> <li>◇男女の教師役や男女の生徒のキャラクターによる教材の説明や「⇒」の印によって具体的な内容を示し、課題解決のきっかけとなる工夫をしている。</li> </ul>	

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
内容を示す教材名や数・印・表記など	<p>◇「話し合おう」のロゴや「自分で考えたこと」「みんなで考えたこと」などの記入欄を設け、音楽表現に対する思いや意図、鑑賞活動での批評を書き、対話的な活動を支援する工夫がある。</p> <p>◇「Active!」のロゴで、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す活動例を示している。</p> <p>◇教材に「⇄比べてみよう」「まなびリンク」を付して発展的な内容を提示し、実態に応じたカリキュラムに柔軟に対応できるよう工夫している。</p> <p>◇鉛筆をデザインした「音のスケッチ」のロゴで創作題材を示している。</p> <p>◇歌唱共通教材は「日本の歌 みんなの歌」のロゴタイプの文字で示している。</p> <p>◇学習活動をサポートする資料を多く掲載している。 「Sing!Sing!…歌うためのワンポイント・アドバイス」 「Let's Try!…声や楽器を取り入れた活動のページ」 「音のスケッチ…創作のページ」 指揮「指揮をしてみよう」 「私たちのくらしと音楽～音楽著作権について～」 「楽典」「オーケストラの楽器」「音の要素」 「リコーダーの運指表」 「コンピュータと音楽」 「肖像で見る音楽年表」</p> <p>◇巻頭の口絵「With My Heart 音楽はメッセージ」ではピアニスト、笙奏者、指揮者からのメッセージを見開きで掲載し、音楽の魅力や普遍的な力について考えるよう工夫している。続くページでは、教材の作曲者の作品への思い掲載している。</p> <p>◇「まなびリンク」の二次元コードを付して学習に対応した動画等の資料がWeb上に用意され、生徒の個別最適な学習への対応を配慮している。さらに詳しい情報を得るために学習者用デジタル教科書・教材を使用して学習することができる。</p> <p>◇教科書のテーマを「学びのチカラで人と社会を未来へつなぐ」と全学年の裏表紙左上に記載し、表紙絵のテーマを掲載教材の歌詞から抜粋し、1年「今 踏み出す道は 光があふれている」、2・3年上「明日から吹く風に 翼をひろげ 羽ばたこう 今」、2・3年下「あたりまえの気持ちはあたりまえのものとして そのまま 今ここにあり」とテーマ内容を5ページ目に記している。</p>	<p>◇教材にプラスマークの「深めてみよう」や発展マークを付して発展的な内容を提示し、実態に応じたカリキュラムに対応できるよう工夫している。</p> <p>◇「聴いてみよう」のロゴで器楽教材と鑑賞教材との関連を示し、器楽教材と他の分野との関連を図っている。</p> <p>◇鉛筆をデザインした「音のスケッチ」のロゴで創作題材を示している。</p> <p>◇巻末の名曲旋律集では、ブルタバ（モルダウ）やボレロなど、鑑賞教材の主旋律と関連させて旋律を提示している。</p> <p>◇学習活動をサポートする資料を多く掲載している。 「吹く楽器の仲間たち」 「弾く楽器の仲間たち」 「打楽器」 巻末「リコーダー運指表とギター&amp;キーボードコード表」 「いろいろな用語、記号」</p> <p>◇巻頭の口絵「LET'S PLAY MUSIC!」では和楽器を含む世界のさまざまな楽器の演奏者の写真を見開きで掲載し、続くページの「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」では音楽が社会に果たす役割や魅力を伝え、さらに器楽の各ページで楽器ごとに奏者の助言を記載している。</p> <p>◇「まなびリンク」のロゴを付した教材は、記載のウェブサイトアクセスして学びに役立つ情報を見ることができる。また学習者用デジタル教科書や拡大教科書を使用して学習することができる。</p> <p>◇教科書のテーマを「学びのチカラで人と社会を未来へつなぐ」と裏表紙左上に記載し、教科書の表紙絵はギターや箏など楽器のイラストを記載し、テーマの説明は記していない。</p>	<p>◇「学びのコンパス」で、歌唱教材や鑑賞教材において、音楽を形づくっている要素を基に主体的・協働的に学ぶ活動例を示している。</p> <p>◇教材に「Challenge!!」「+α」を付し、発展的な内容を提示して、実態に応じたカリキュラムに柔軟に対応できるよう工夫している。</p> <p>◇「My Melody 創作—音のつながり方—」「Let's Create! 創作—音素材の特徴と構成—」の見出しで創作題材を表記している。</p> <p>◇歌唱共通教材は「心の歌」のロゴマークで示している。</p> <p>◇学習活動をサポートする資料を多く掲載している。 発声「My Voice」 リズムで楽しもう「リズムゲーム」「リズムアンサンブル/リズムチャレンジ」 指揮「指揮をしてみよう！」 「生活や社会の中の音や音楽」 日本音楽に関する言葉（序破急、間、音階） 「世界の諸民族の音楽」（25種の民族楽器） 資料「音楽を形づくっている要素」 「音楽の約束」 特集「ルールを守って音楽を楽しもう！」 「耳でたどる音楽史」</p> <p>◇巻頭の口絵「音楽家からのメッセージ」ではポップアーティスト、歌舞伎役者、ピアニストなどの演奏家、続く「音楽って何だろう？」では、宇宙飛行士や人類進化学者からのメッセージを見開きで掲載し、様々な角度から音楽の魅力や普遍的な力を考える工夫をしている。</p> <p>◇二次元コードを付した教材は、記載のウェブサイトにアクセスして学びに役立つ情報を見ることができる。また学習者用デジタル教科書、拡大教科書を使用して学習することができる。</p> <p>◇教科書の表紙絵のテーマを1年「音楽との出会い」、2・3年上「音楽をつくる、鑑賞する」、2・3年下「歌う、合唱する」として裏表紙に明記し、「私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能」の写真（1年：小倉祇園太鼓、2・3年上：小松市中学校古典教室 歌舞伎上演、2・3年下：出雲神楽）の掲載と共に、教科書作成にこめた思いを裏表紙に記載している。</p>	<p>◇「学びのコンパス」で曲の構成や音の重なりに関する課題を提示して、主体的・協働的に学ぶ活動例を示している。</p> <p>◇歌唱教材、鑑賞教材、創作教材を記載し、器楽教材と他の分野との関連を図っている。</p> <p>◇「Challenge!」「演奏を聴こう」「和楽器こぼれ話」で発展的な内容を提示し、実態に応じたカリキュラムに柔軟に対応できるよう工夫している。</p> <p>◇「My Melody 創作—日本の音階を使ってまとまりのある旋律をつくらう—」と題材名を表示し、箏による創作活動を縦譜を付して記載している。</p> <p>◇後半のアンサンブルで「春」や「ブルタバ」などの鑑賞教材を取り扱い、鑑賞教材との関連を図っている。</p> <p>◇学習活動をサポートする資料を多く掲載している。 「さっきのドラムソロやったの、誰だ？」 「音楽ってなんだろう？～じぶん、そして、ひとのもの～」 「日本の伝統音楽の楽器編成」 「バンドの世界をのぞいてみよう」 「リコーダーの運指表」 「ギター/キーボードコード表」 「楽器の図鑑」 「楽しもう！和楽器の音楽」</p> <p>◇巻頭の口絵「音楽家からのメッセージ」では打楽器奏者のメッセージを、続く「音楽って何だろう？」では世界のさまざまな民族楽器の写真を見開きページで文芸評論家のメッセージと共に掲載している。さらに和楽器のページでは各楽器ごとに和楽器奏者の助言を記載している。</p> <p>◇二次元コードを付した教材は、記載のウェブサイトにアクセスして学びに役立つ情報を見ることができる。また学習者用デジタル教科書拡大教科書を使用して学習することができる。</p> <p>◇教科書の表紙テーマを「奏でる、合奏する」として明記し、「私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能」として佐原囃子の写真の掲載と共に教科書作成にこめた思いを裏表紙に記載している。</p>

調査項目		発行者名			
		17 教出		27 教芸	
		音楽	器楽	音楽	器楽
内容を 示す 教材 名や 数・ 印・ 表 記 な ど	歌唱教材、全体数等	<p>【1年】教材数 22</p> <p>「光の道」 「DO-RE-MI (ドレミの歌)」</p> <p>「エーデルワイス」 「夢の翼」</p> <p>「夏の思い出」 (歌唱共通教材：日本の歌 みんなの歌)</p> <p>「赤とんぼ」 (歌唱共通教材：日本の歌 みんなの歌)</p> <p>「明日を信じて」 「飛び立とう君の空へ」</p> <p>「あの丘の向こうから」 「ソーラン節」 「かりぼし切り歌」</p> <p>◇歌のアルバム (合唱曲集)</p> <p>「チャイム チャイム！」 「心ひらけば」</p> <p>「明日への勇気」 「海が明けるよ」</p> <p>「希望という名の花を」 「マイ バラード」</p> <p>「君と歩こう」 「心をこめて」 「ほらね、」</p> <p>全校合唱「故郷」 (同声二部合唱) 」</p> <p>〔国歌〕 「君が代」</p> <p>【2・3年上】教材数 22</p> <p>「生命が羽ばたくとき」 「You Can Fly!」</p> <p>「浜辺の歌」 (歌唱共通教材：日本の歌 みんなの歌)</p> <p>「早春賦」 (歌唱共通教材：日本の歌 みんなの歌)</p> <p>「花の街」 (歌唱共通教材：日本の歌 みんなの歌)</p> <p>「翼をください」 「そよぐ風の中で」 「この星のどこかで」</p> <p>唱歌 (しょうが) を用いて「越天楽」を体験しよう</p> <p>能の音楽を体験しよう 能「羽衣」キリから (大ノリ「東遊びの数々に」の繰り返しの部分)</p> <p>◇歌のアルバム (合唱曲集)</p> <p>「知らない世界を」 「語りあおう」 「大切なもの」</p> <p>「HEIWAの鐘」 「VOICES」 「時計台の鐘」 「雪の降る街を」</p> <p>「Dear Friend」 「アメーzing・グレイス」 「ほたるの光」</p> <p>全校合唱「故郷」 (混声三部合唱)</p> <p>〔国歌〕 「君が代」</p> <p>【2・3年下】教材数 18</p> <p>「花」 (歌唱共通教材：日本の歌 みんなの歌)</p> <p>「荒城の月」 (歌唱共通教材：日本の歌 みんなの歌)</p> <p>「帰れソレントへ」 「Top of the world」</p> <p>「旅立ちの日に」 「ぜんぶ」</p> <p>長唄「勸進帳」をうたおう：謡ガカリの詞章「月の都を立ち出でて」</p> <p>◇歌のアルバム (合唱曲集)</p> <p>「たしかな一歩」 「記念日～希望のバトン～」 「椰子の実」</p> <p>「火の山の子守歌」 「地球の息吹につつまれて」</p> <p>「世界がひとつの家族のように」 「仰げば尊し」 「さようなら」</p> <p>「大地讃頌」</p> <p>全校合唱「故郷」 (混声四部合唱)</p> <p>〔国歌〕 「君が代」</p>	<p>教材数 13</p> <p>「たこたこあがれ」</p> <p>(歌詞及び篠笛の唱歌)</p> <p>「ひらいたひらいた」</p> <p>(歌詞)</p> <p>「子守歌」 (歌詞)</p> <p>「祭囃子」</p> <p>(篠笛と締太鼓の唱歌)</p> <p>「もういいかい」</p> <p>(歌詞及び尺八の唱歌)</p> <p>「さくらさくら」</p> <p>(歌詞及び箏と三味線の唱歌)</p> <p>「カントリー・ロード」</p> <p>(歌詞)</p> <p>「荒城の月」 (歌詞)</p> <p>「もみじ」 (歌詞)</p> <p>「故郷」 (歌詞)</p> <p>「千の海響 望の章」</p> <p>(太鼓と締太鼓の唱歌及び歌詞)</p> <p>「ジョイフルコンビネーション2」 (ボカリーズ)</p> <p>「楽器と唱歌によるパッチワーク」 (大鼓、小鼓、篠笛の唱歌)</p>	<p>【1年】教材数 23</p> <p>「We' ll Find The Way～はるかな道へ」 「その先へ」</p> <p>「主人は冷たい土の中に (静かに眠れ)」</p> <p>「浜辺の歌」 (歌唱共通教材：心の歌)</p> <p>「赤とんぼ」 (歌唱共通教材：心の歌)</p> <p>「夢の世界を」 「君をのせて」</p> <p>「ソーラン節」 「越天楽」 「谷茶前」 「南部牛追唄」</p> <p>「涙そうそう」 (歌い継ごう 日本の歌)</p> <p>「上を向いて歩こう」 (歌い継ごう 日本の歌)</p> <p>◇心通う合唱 (合唱曲集)</p> <p>「友達の子供」 「Yes!!」 「1/6の夢旅人2002」 「unlimited」</p> <p>「天球図」 「大切なもの」</p> <p>「星座」 「あすという日が」 「COSMOS」</p> <p>国歌「君が代」</p> <p>【2・3年上】教材数 18</p> <p>「明日を向いて」 「道を歩けば」 「翼をください」</p> <p>「夏の思い出」 (歌唱共通教材：心の歌)</p> <p>「荒城の月」 (歌唱共通教材：心の歌)</p> <p>「サンタ ルチア」 「Joyful Joyful」</p> <p>長唄「勸進帳」から「寄せの合方」の次の本調子 (「これやこの 往くもかえるも別れては～逢坂の山かくす」)</p> <p>義太夫節「野崎村の段」から</p> <p>「夏は来ぬ」 (歌い継ごう 日本の歌)</p> <p>「やさしさに包まれたなら」 (歌い継ごう 日本の歌)</p> <p>◇心通う合唱 (合唱曲集)</p> <p>「ハートのアンテナ」</p> <p>「My Own Road-僕が創る明日-」 「未来への旅」 「時の旅人」</p> <p>「14 -fourteen-」 「蛍の光」</p> <p>国歌「君が代」</p> <p>【2・3年下】教材数 17</p> <p>「花」 (歌唱共通教材：心の歌)</p> <p>「花の街」 (歌唱共通教材：心の歌)</p> <p>「早春賦」 (歌唱共通教材：心の歌)</p> <p>「ふるさと」 「帰れソレントへ」</p> <p>「Hey Jude」</p> <p>謡「敦盛」から 詞章「一門みなみな～兵船も遥かに延びたもう」</p> <p>「花は咲く」 (歌い継ごう 日本の歌)</p> <p>「椰子の実」 (歌い継ごう 日本の歌)</p> <p>◇心通う合唱 (合唱曲集)</p> <p>「忘れることなんかできない」</p> <p>「この町が好き」 「旅立ちの日に」 「タイムリーパー」 「春に」</p> <p>「大地讃頌」 「仰げば尊し」</p> <p>国歌「君が代」</p>	<p>教材数 12</p> <p>「虫づくし」 (歌詞)</p> <p>「姫松」 (歌詞)</p> <p>「六段の調」から「四段」</p> <p>(箏の唱歌：唱歌を歌ってみよう)</p> <p>「さくらさくら」</p> <p>(歌詞及び箏の唱歌)</p> <p>「こきりこ」 (歌詞)</p> <p>「風にのって」</p> <p>(太鼓の唱歌)</p> <p>「たこたこあがれ」</p> <p>(篠笛の唱歌)</p> <p>「ほたるこい」</p> <p>(篠笛の唱歌)</p> <p>「夕やけこやけ」</p> <p>(尺八の唱歌)</p> <p>「小さな恋のうた」</p> <p>(歌詞)</p> <p>「MATSURI」</p> <p>(篠笛の唱歌)</p> <p>「寄せの合方」によるリズムアンサンブル</p> <p>(大鼓と小鼓の唱歌)</p>

教科・種目名 音楽・器楽 調査研究事項

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
器楽教材、全体数等 内容を示す教材名や数・印・表記など	<p>【1年】 教材なし</p> <p>【2・3年上】 教材数 1 リコーダー 「浜辺の歌」</p> <p>【2・3年下】 教材なし</p>	<p>◇リコーダー 教材数 20 「リズムdeゴー」「しりとりの歌」「チャイニーズ・ダンス」「喜びの歌」「家路」「カノン1」「うみ」「アメージング・グレイス」「凱旋の行進曲」「ソナタ K.331」「サムの一とりのごと」「誰も知らない私の悩み」「レヴェル・プレイン」「カノン2（優しき流れ）」「きらきら星」「さくらさくら」「威風堂々」「カノン3（うぐいすのカノン）」「大きな古時計」「ブランデンブルク協奏曲第2番から 第2楽章」</p> <p>◇ギター 教材数 6 「アリー・ローリー」（単旋律：運指練習用）「Happy Birthday to You」「カントリー・ロード」「どこかの街で 不思議な旋律PART-2」「エチュード」「アニー・ローリー」（合奏：ソプラノ、アルトリコーダーとアルペジオ伴奏）</p> <p>◇篠笛 教材数 7 「たこたこあがれ」「ひらいたひらいた」「さくらさくら」「子守歌」「祭囃子」「一番星見つけた」「夜空を見上げて」</p> <p>◇尺八 教材数 1 「もういいかい」</p> <p>◇箏 教材数 4 「練習曲1」「練習曲2」「さくらさくら」「荒城の月」</p> <p>◇三味線 教材数 1 「さくらさくら」</p> <p>◇太鼓 教材数 1 「基本のリズム」</p> <p>◇打楽器の奏法（5種類） 小太鼓、大太鼓、ボンゴ、コンガ、カホン ◇吹く楽器の仲間たち（4種類） スリン、ケーナ、パーンスリー、フルート ◇弾く楽器の仲間たち（19種類） リュート、バラライカ、ピーパー、琵琶、カーヌーン、グージョン、マンドリン、カヤグム、クラシックギター、ウード、トンコリ、サンシエン、アパラチアン・ダルシマー、三線、三味線、ウクレレ、バンジョー、箏（こと）、チャランゴ</p> <p>◇三味線と打楽器の合奏曲 教材数 1 長唄「勸進帳」から「寄せの合方」 ◇ Let's Play!（基礎合奏）教材数 7 「もみじ」（AR2重奏）「故郷」（AR2重奏）「故郷の人々」（SR2重奏）「シチリアーナ」（ARまたはSR+伴奏）「カントリー・ロード」（ARまたは低音+ギター伴奏）「木星」（SR+AR+TR+BR 4重奏）「一番星見つけた/夜空を見上げて」（篠笛独奏及び篠笛3重奏） ◇ Let's Try!（応用合奏）教材数 13 長唄「勸進帳」から 寄せの合方（三味線+打楽器） 「サザエさん」（AR2重奏）「風のとおり道」（AR2重奏）「風笛」（SR2重奏） 「春」（「四季」から）（SR・AR+低音） 「ホール・ニュー・ワールド」（SR・AR） 「さくらさくら」（箏2重奏 ト音譜表+家庭式縦譜） 「こきりこ節」（箏2重奏 ト音譜表+家庭式縦譜） 「もののけ姫」（箏2重奏 ト音譜表+家庭式縦譜） 「千の海響 望の章」（和太鼓3重奏：太鼓1+太鼓2+締太鼓） 「ライディーン」（旋律楽器3+打楽器2） 「ジョイフルコンビネーション1」（手拍子+膝打ち+足踏み） 「ジョイフルコンビネーション2」（手拍子+膝打ち+足踏み+歌） ◇名曲旋律集（単旋律）教材数 9 「シューベルトの子守歌」「冬（「四季」から）」「赤とんぼ」 交響曲第5番ハ短調（第4楽章）（ベートーヴェン作曲） 「ボレロ」「凱旋の行進曲（オペラ「アイダ」第2幕 第2場から）」 「ブルタバ（モルダウ）（連作交響詩「我が祖国」から）」 「ファイナルファンタジー メインテーマ」「グリーンスリーブス」</p>	<p>【1年】 教材数 1 「主人は冷たい土の中に」</p> <p>【2・3年上】 教材なし</p> <p>【2・3年下】 教材なし</p>	<p>◇リコーダー 教材数 14 「喜びの歌」「かっこう」「聖者の行進」「カノン1」「カノン2」「オーラリー」「アニーローリー」「虹の彼方に」「カノン3」「ラヴァースコンチェルト」「きらきら星」「威風堂々」「木かげの思い出」「ふるさと」</p> <p>◇ギター 教材数 2 「カントリーロード」「大きな古時計」</p> <p>◇篠笛 教材数 2 「たこたこあがれ」「ほたるこい」</p> <p>◇尺八 教材数 1 「タやけこやけ」</p> <p>◇箏 教材数 4 「虫づくし」「姫松」「六段の調」から「四段」「さくらさくら」 ◇三味線 教材数 1 「こきりこ」 ◇太鼓 教材数 1 「風にのって」</p> <p>◇打楽器合奏曲 教材 1 「小さな恋のうた」（ドラムセット、ベースギター、エレキギター、歌） ◇打楽器の奏法（15種類） クラベス、シェーカー、カウベル、アゴゴ、ボンゴ、コンガ、カスタネット、タンブリン、鈴、シンバル、小太鼓、大太鼓、カホン、ジェンベ、ドラムセット ◇アンサンブル 教材数 16 「Edelweiss」（AR2重奏）「春」（AR2重奏+低音） 「I Got Rhythm」（AR+低音+リズム伴奏） 「笑点のテーマ」（SR+ギター、AR+ギター）「海に見える街」（ARまたはSR+AR 2重奏） 「美女と野獣」（ARまたはSR+AR 2重奏）「トリストレーザ」（SR+AR+リズム伴奏） 「ブルタバ（モルダウ）」（AR+SR+ギター） 「千の風になって」（4パートの楽器を選択した合奏） 「A Whole New Worrd」（4パートの楽器を選択した合奏） 「Sessin I」（手拍子+足拍子）「Bodipa Beats Z」（手拍子+もも打ち+足踏み） 「大きな古時計」（ギター3重奏） 「クラッピングラブソディー第1番」（手拍子1、2+旋律楽器+リズム伴奏） 「打楽器のための小品」（6パートの打楽器重奏） 「MATSURI」（篠笛+締太鼓+長胴太鼓+口唱歌） 「寄せの合方」によるリズムアンサンブル（三味線+大鼓+小鼓+掛け声+口唱歌）</p> <p>◇楽器でMelody（単旋律）教材数 9 「パプリカ」（SR）「スウィングしなけりや意味がない」（AR）「木星」（SR） 「誰も寝てはならぬ」（AR）交響詩「フィンランディア」（AR） 「少年時代」（箏）家庭式縦譜 「夏祭り」（箏）家庭式縦譜 「荒城の月」（三味線）「もののけ姫」（篠笛またはSR、AR）</p>

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
内容を示す教材名や数・印・表記など	<p><b>創作題材、全体数等</b></p> <p>【1年】題材数 3                      ◇「日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう」                      ◇「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」                      ◇「くいしんぼうのラップ」</p> <p>【2・3年上】題材数 2                      ◇「リズムパターンをつくろう『オーラ・リー』」                      ◇「平調子の特徴を生かして音楽をつくろう『さくらさくら』」</p> <p>【2・3年下】題材数 2                      ◇「言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう」                      ◇「CMソングをつくろう」</p>	<p>題材数 5                      ◇平調子の響きを生かして「荒城の月」の前奏をつくってみよう                      ◇五つの音を使って「夜空を見上げて」オリジナル旋律をつくってみよう                      ◇「どこかの街で 不思議な旋律PART-1」                      ◇「どこかの街で 不思議な旋律PART-2」                      ◇「楽器と唱歌によるパッチワーク」(打楽器と唱歌による合奏)</p>	<p>【1年】題材数 3                      ◇「リズムゲーム」「リズムアンサンブル」「リズムチャレンジ」                      ◇「My Melody 創作一音のつながり方」                      ◇「Let's Create! 創作一音素材の特徴と構成」</p> <p>【2年上】題材数 3                      ◇「リズムゲーム」「リズムアンサンブル」「リズムチャレンジ」                      ◇「My Melody 創作一音のつながり方」                      ◇「Let's Create! 創作一音素材の特徴と構成」</p> <p>【2・3年下】題材数 2                      ◇「My Melody 創作一音のつながり方」                      ◇「Let's Create! 創作一音素材の特徴と構成」</p>	<p>題材数 1                      ◇「My Melody 創作一日本の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう」</p> <p>&lt;創作課題&gt;                      ・都節音階と律音階のどちらかを選んでつくる                      ・音階の雰囲気を生かして、音のつながり方を工夫する。                      ・最後は三、五、八、十のいずれかの音で終わる。</p>
鑑賞教材、全体数等	<p>【1年】教材数 17                      「春」第1・2・3楽章 「夏」第1・2・3楽章                      「秋」第1・2・3楽章 「冬」第1・2・3楽章                      「魔王(シューベルト)」「魔王(ライヒャルト)」                      箏曲「六段の調(しらべ)」 尺八曲「鹿の遠音」                      「きらきら星変奏曲」                      ◇「日本とアジアをつなぐ音」 教材数 2                      グージョン「漁舟唱晩」 カヤグム「サンジョ」                      ◇日本とアジアの声によるさまざまな表現 教材数 6                      「天台声明」「日本の民謡(「八木節」「江差追分」の比較)」「ケチャ」「オルティンドー」「ホーミー」「布農(ブヌン)族の合唱」                      ◇「郷土のさまざまな民謡」 教材数 53                      北海道「ソーラン節」「江差追分」「チュプカ カムイラン」                      青森県「津軽じょんがら節」                      秋田県「ねんねこころろこ」「秋田おぼこ」                      岩手県「南部木挽き歌」 宮城県「斎太郎節」 山形県「花笠音頭」                      福島県「会津磐梯山」 新潟県「佐渡おけさ」「酒づくり歌」                      栃木・群馬県「八木節」 栃木県「足尾石刀節」 茨城県「磯節」                      千葉県「銚子大漁節」 埼玉県「秩父音頭」 神奈川県「箱根馬子唄」                      東京都「江戸の鳶木遣」 山梨県「縁故節」                      長野県「木曾節」「小諸馬子歌」 静岡県「ちゃつきり節」                      岐阜県「郡上八幡の盆踊り歌」 愛知県「岡崎五万石」                      富山県「こきりこ節」 石川県「長持歌」 福井県「三国節」                      三重県「伊勢音頭」 滋賀県「淡海節」 京都府「福知山音頭」                      和歌山県「串本節」 奈良県「吉野川筏歌」 兵庫県「デカンショ節」                      広島県「音戸の舟歌」 鳥取県「貝がら節」 島根県「安来節」                      岡山県「下津井節」 香川県「こんびら船々」 高知県「ヨサコイ節」                      愛媛県「伊予節」 徳島県「阿波よしこの節」 福岡県「黒田節」                      山口県「男なら」 大分県「鶴崎踊」 佐賀県「佐賀筆筒長持歌」                      長崎県「長崎ぶらぶら節」 鹿児島県「鹿児島おはら節」                      熊本県「五木の子守唄」 宮崎県「ひえつき節」                      沖縄県「朝花節」「谷茶前」「月(つくい)ぬ美(かい)しゃ」</p> <p>◇「音楽の役割を考えながら多様な表現を鑑賞しよう」(分類別)                      ・仕事歌:「ソーラン節」「酒づくり唄」「吉野川筏歌」「ひえつき節」など                      ・祝い歌:「銚子大漁節」「長持歌」など                      ・踊り歌:「花笠音頭」「郡上八幡の盆踊り歌」「鶴崎踊」など                      ・子守歌:「ねんねこころろこ」「五木の子守歌」「月ぬ美しゃ」                      ・楽しみのための歌:「安来節」「伊勢音頭」「ヨサコイ節」</p>	<p>教材数 7                      「ブランデンブルク協奏曲第2番から第2楽章」                      「ブランデンブルク協奏曲第4番から第1楽章」                      「アランプラ(アルハンブラ)の思い出」                      「さくら変奏曲」                      長唄「勧進帳」から寄せの合方                      長唄「秋色種」から虫の合方                      長唄「鞍馬山」からセリの合方</p>	<p>【1年】教材数 14                      映画「ジョーズ」から「ジョーズのテーマ」                      映画「ゴジラ」(1954年)から「ゴジラのテーマ」                      映画「E.T.」(1982年)から「フライングテーマ」                      映画「バックトゥザフューチャー」(1985年)から「バックトゥザフューチャー」                      映画「ハリリー・ポッターと賢者の石」(2001年)から「ヘドウィグのテーマ」                      オペラ「カルメン」から「前奏曲」                      「春一第1楽章」「夏一第3楽章」「秋一第3楽章」「冬一第2楽章」                      「魔王-Erlkönig-」「野ばら」                      雅楽「平調(ひょうちょう) 越天楽(えてんらく)」一管絃一箏曲「六段の調(しらべ)」</p> <p>◇日本の民謡 教材数 3                      岩手県「南部牛追唄」 三重県「伊勢音頭」 沖縄県「谷茶前」                      ◇「郷土に伝わる民謡を調べよう」教材数 57                      (民謡分類:仕事歌/座興歌/踊り歌/祝い歌/子守歌 色別の分類)                      ・仕事歌                      「ソーラン節」「南部牛追唄」「斎田郎節」「草津節」                      「網のし唄」「江戸の鳶木遣」「箱根馬子唄」「小諸馬子唄」                      「吉野川筏唄」「貝殻節」「祖谷の粉ひき節」「音戸の舟唄」                      「刈干切唄」                      ・座興歌                      「江差追分」「津軽じょんがら節」「秋田おぼこ」                      「岡崎五万石」「名古屋甚句」「ちゃつきり節」「伊勢音頭」                      「山中節」「下津井節」「金毘羅船々」「安来節」「男なら」                      「伊予節」「よさこい節」「鹿児島おはら節」                      「長崎ぶらぶら節」「岳の新太郎さん」「黒田節」                      ・踊り歌                      「花笠音頭」「会津磐梯山」「佐渡おけさ」「秩父音頭」                      「縁故節」「八木節」「日光和楽踊り」「佐渡おけさ」                      「木曾節」「郡上節」「こきりこ」「三国節」「江州音頭」                      「河内音頭」「福知山音頭」「デカンショ節」「鶴崎踊」                      「谷茶前」                      ・祝い歌                      「宮城長持唄」「銚子大漁節」「祝いめでた」「朝花節」                      ・子守歌「江戸子守唄」「根来の子守唄」「五木の子守唄」                      「月(つき)ぬ美(かい)しゃ」</p>	<p>教材数 15                      「ブランデンブルク協奏曲第4番から第1楽章」                      「Music For A Bird」                      「アルハンブラの思い出」                      「アランプラ協奏曲第2番」                      「いつか王子様が」                      「手事」から第3楽章「輪舌」                      「千鳥の曲」                      長唄「鏡獅子」から                      津軽三味線「津軽じょんがら節」                      「TAIKO POWER」「エイサー」                      「通り神楽」                      「阿波おどり」                      「鶴の巣籠」                      「Amazing Grace」</p>

教科・種目名 音楽・器楽 調査研究事項

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
鑑賞教材、全体数等 内容を示す教材名や数・印・表記など	<p>【2・3年上】教材数 8 「小フーガ ト短調」 「交響曲第5番ハ短調作品67」 「ボレロ」 組曲「惑星」から第1曲「火星」 雅楽（ががく）「越天楽（えてんらく）」（平調）一管弦一能「羽衣」キリから「東遊びの数々に～」の部分 能「敦盛」キリから「波の打物（うちもの）抜いて～」の部分 「アルルの女」第1組曲「前奏曲」</p> <p>◇「郷土の音楽や芸能」 教材数 4 「鹿踊（ししおどり）」〈金津流獅子躍（かなつりゅうししおどり）〉（岩手県） 「獅子舞」〈神田神社〉（東京都）</p> <p>◇ 各地に伝わる音楽や芸能 教材数 10 「龍踊（じゃおどり）」〈長崎くんち〉（長崎県） 「虎舞（とらまい）」〈八戸三社大祭〉（青森県） 「博多祇園山笠」（福岡県） 「壬生の花田植」（広島県） 「阿波踊り」（徳島県） 「天神祭」（大阪府） 「犬山祭」（愛知県） 「三社祭」（東京都） 「秩父夜祭」（埼玉県） 「早池峰神楽（はやちねかぐら）」（岩手県）</p>		<p>【2・3年上】教材数 5 「フーガ ト短調」 「交響曲第5番 ハ短調」 「アイーダ」から 歌舞伎「勸進帳」 文楽「新版歌祭文」から“野崎村の段”</p> <p>◇「世界の諸民族の音楽」 教材数 4 「フラメンコ」（スペイン） 「ブルガリアの女声合唱」（ブルガリア） 「グリオ」（セネガル） 「京劇（ジンジュ）」（中国）</p> <p>◇「ミュージカル」 教材数 12 「雨に歌えば」 「ウエストサイド物語」 「シュルプールの雨傘」 「サウンド オブ ミュージック」 「ジーザスクライストスーパースター」 「ユタと不思議な仲間たち」 「レ ミゼラブル」 「オペラ座の怪人」 「エリザベート」 「美女と野獣」 「ライオン キング」 「ラ ラ ランド」</p> <p>◇「受け継ごう！郷土の祭りや芸能」 教材数 48 （祭礼・神楽・田楽・風流・舞台芸・その他に色別分類） その他（アイヌの芸能） 「アイヌ古式舞踊」 田楽「えんぶり」 風流「西馬音内の盆踊」 法会「毛越寺の延年」 舞台芸「黒川能」 田楽「秋保の田植踊」 風流「綾子舞」 舞台芸「檜枝岐歌舞伎」 祭礼「烏山の山あげ行事」 舞台芸「安中中宿の灯籠人形」 祭礼「日立風流物」 舞台芸「大鹿歌舞伎」 祭礼「秩父祭りの屋台行事と神楽」 舞台芸「鬼来迎」 神楽「江戸の里神楽」 風流「チャッキラコ」 舞台芸「天津司舞」 田楽「西浦の田楽」 舞台芸「知立の山車文楽とからくり」 風流「越中八尾おわら風の盆」 祭礼「高山祭りの屋台行事」 舞台芸「尾口のでくまわし」 新年祝福芸「越前万歳」 神楽「伊勢太神楽」 神事芸能「題目立て」 田楽「那智の田楽」 祭礼「長浜曳山祭りの曳山行事」 祭礼「京都祇園祭の山鉾行事」 祭礼「天神祭」 舞台芸「淡路人形浄瑠璃」 風流「麒麟獅子舞」 神楽「備中神楽」 田楽「壬生の花田植」 神楽「岩国行波の神舞」 神楽「石見神楽」 風流「綾子踊」 風流「阿波おどり」 神楽「伊予神楽」 田楽「吉良川の御田祭」 祭礼「博多祇園山笠行事」 祭礼「唐津くんちの曳山行事」 その他「長崎くんちの奉納踊」 その他（法会で行われた芸能） 「修正鬼会」 神楽「高千穂の夜神楽」 舞台芸「東郷文弥節人形浄瑠璃」 祭礼「八代妙見祭の神幸行事」 舞台芸「諸鈍芝居」 風流「エイサー」</p>	

教科・種目名 音楽・器楽 調査研究事項

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
内容を示す教材名や数・印・表記など	<p>【2・3年下】教材数 5 「ブルタバ（モルダウ）」 交響詩「フィンランディア」 オペラ「アイダ」から 第2幕 第2場 歌舞伎「勸進帳」 文楽「義経千本桜」から二段目 大物浦（だいもつうら）の段</p> <p>◇「世界のさまざまな芸能や音楽」教材数 4 ジジュー＜京劇＞「西遊記」から ミュージカル「レ・ミゼラブル」から 「パンソリ」（朝鮮半島） 「ワヤン・クリ」（インドネシア ジャワ島）</p> <p>◇「ポピュラー音楽図鑑」教材数 11 ・Bluesブルース（B.B. キング） ・Gospelゴスペル（マヘリア・ジャクソン） ・Jazzジャズ（マイルス・デイヴィス） ・Rhythm&amp;bluesリズム・アンド・ブルース（ジェームス・ブラウン） ・Country &amp; Westernカントリー&amp;ウエスタン（ハンク・ウィリアムス） ・Folk フォーク（ジョーン・バエズ） ・Rock（エルヴィス・プレスリー/ザ・ビートルズ/レッド・ツェッペリン） 参考曲「アップタウン・ファンク」「シェイク・イット・オフ」</p> <p>◇日本と西洋の音楽の歩み &lt;聴いてみよう&gt; 5 ・オラトリオ「メサイヤ」第2部から「ハレルヤ」ヘンデル作曲 ・弦楽四重奏曲第67番二長調第1楽章 ハイドン作曲 ・「24の前奏曲 作品28」から第15番 ショパン作曲 ・「月に憑かれたピエロ」から第1部 シェーンベルグ作曲 ・「コンタクテ」シュトックハウゼン作曲</p>		<p>【2・3年下】教材数 6 「ブルタバ（モルダウ）」 「ボレロ」 組曲「展覧会の絵」から（「プロムナード」「第1曲グノームス」「第2曲古城」「第5曲卵の殻をつけたひな鳥ののバレエ」「第9曲鶏の足の上に立っている小屋」「第10曲キエフの大きな門」） 尺八楽「巢鶴鈴慕」 能「敦盛」 「沖縄の伝統芸能『組踊』に親しもう」</p> <p>◇「伝統音楽の魅力を見つけよう」教材数 3 能「安宅」 歌舞伎「勸進帳」 文楽「鳴響安宅新関」「勸進帳の段」</p> <p>◇「私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能」教材数 3 「鷲宮催馬楽神楽」「阿波人形浄瑠璃」「秋田竿燈まつり」</p> <p>◇世界の諸民族の音楽」教材数 3 タンソ（朝鮮半島）ワード（アラブ諸国） タブラー（北インド）</p> <p>◇「ポピュラー音楽」教材数 3 ロック（We will Rock You）、ジャズ（Moanin'）、ボサノバ（おいしい水）</p> <p>◇「ポピュラー音楽のジャンル（海外編）」教材数 12 ブルース、ジャズ、カントリー、フォークソング、R&amp;B/ソウル フュージョン、ラテン、レゲエ、ロック、エレクトロニカ、 ファンク、ヒップホップ/ラップ</p> <p>◇「ポピュラー音楽のジャンル（日本編）」教材数15 浪曲、ジャズ、フュージョン、歌謡曲（昭和時代前期）、演歌、 ヒップホップ、フォークソング、歌謡曲（昭和時代後期）、 アイドル、グループサウンズ、ニューミュージック、アニメソング、 ロック、テクノポップ、渋谷系</p>	
歌唱教材のうち、我が国の自然や文化、日本語のもつ美しさを味わえる教材	<p>【1年】教材数 4 「夏の思い出」 「赤とんぼ」 全校合唱「故郷」（同声二部合唱） 〔国歌〕「君が代」</p> <p>【2・3年上】教材数 5 「浜辺の歌」「早春賦」「花の街」 全校合唱「故郷」（混声三部合唱） 〔国歌〕「君が代」</p> <p>【2・3年下】教材数 5 「花」「荒城の月」「椰子の実」 全校合唱「故郷」（混声四部合唱） 〔国歌〕「君が代」</p>	<p>◇リコーダー 教材数 4 「うみ」 「さくらさくら」 「もみじ」「故郷」</p> <p>◇尺八 教材数 1 「もういいかい」</p> <p>◇箏 教材数 4 「さくらさくら」 「荒城の月」 「箏曲『六段の調』」 「こきりこ節」</p> <p>◇三味線 教材数 2 「さくらさくら」 長唄「勸進帳」から 「寄せの合方」</p> <p>◇篠笛 教材数 5 「たこたこあがれ」 「ひらいたひらいた」 「さくらさくら」 「子守歌」 「祭囃子」</p> <p>◇和太鼓 教材数 2 「基本のリズム」 「千の海響望の章」</p>	<p>【1年】教材数 5 「浜辺の歌」「赤とんぼ」 「涙そうそう」 「上を向いて歩こう」 国歌「君が代」</p> <p>【2・3年上】教材数 5 「夏の思い出」 「荒城の月」「夏は来ぬ」 「やさしさに包まれたなら」 国歌「君が代」</p> <p>【2・3年下】教材数 7 「花」「花の街」「早春賦」 「花は咲く」「椰子の実」「ふるさと」 国歌「君が代」</p>	<p>◇リコーダー 教材数 5 「ふるさと」 「千の風になって」 「笑点のテーマ」 「海に見える街」 「世界に一つだけの花」</p> <p>◇箏（こと） 教材数 5 「虫づくし」「姫松」 「六段の調」から“四段” 「さくらさくら」 「少年時代」「夏祭り」</p> <p>◇三味線 教材数 2 「こきりこ」「荒城の月」</p> <p>◇篠笛 教材数 5 「たこたこあがれ」 「ほたるこい」 「火祭りの踊り」 「もののけ姫」 「MATSURI」</p> <p>◇和太鼓 教材数 1 「風にのって」</p> <p>◇尺八 教材数 1 「夕やけこやけ」</p>

教科・種目名 音楽・器楽 調査研究事項

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
内容を示す教材名や数・印・表記など	<p>歌唱教材のうち、我が国の伝統的な声の特徴を感じとれる民謡や長唄などの教材</p> <p>【1年】教材数 2 「ソーラン節」 「かりぼし切り歌」</p> <p>【2・3年上】教材数2 ・唱歌を用いて「越天楽」を体験しよう ・能「羽衣」キリから（大ノリ） 「東遊びの数々に～」の繰り返しの部分</p> <p>【2・3年下】教材数1 長唄「勸進帳」をうたおう</p>	<p>教材数 9 ◇箏「さくらさくら」（唱歌・弾き歌い） 「荒城の月」（弾き歌い） 「六段の調」から三段の冒頭（唱歌）</p> <p>◇三味線「さくらさくら」（口三味線・弾き歌い） 長唄「勸進帳」から「寄せの合方」</p> <p>◇篠笛「祭囃子」（唱歌） ◇尺八「もういいかい」（唱歌） 「唱歌について」（尺八・箏・三味線・太鼓） ◇「楽器と唱歌によるパッチワーク」</p>	<p>【1年】教材数 4 「ソーラン節」 「越天楽」「谷茶前」 「南部牛追唄」</p> <p>【2・3年上】教材数 2 長唄「勸進帳」から 義太夫節「野崎村の段」から</p> <p>【2・3年下】教材数 1 謡「敦盛」から</p>	<p>教材数 9 ◇箏「虫づくし」（弾き歌い） 「姫松」（弾き歌い） 「六段の調」から「四段」（唱歌） 「さくらさくら」（唱歌）</p> <p>◇三味線「こきりこ」（口三味線） 「荒城の月」（弾き歌い） ◇篠笛「たこたこあがれ」（唱歌） 「ほたるこい」（唱歌） ◇尺八「夕焼けこやけ」（唱歌）</p>
器楽教材のうち、和楽器の指導に関する教材	<p>【1年】教材数 2 箏曲「六段の調」 ・箏の平調子 ・左手の奏法「引き色」「後押し」「押し手」 ・縦書きの楽譜（生田流）と横書きの楽譜（山田流） 唱歌アンサンブル「唱歌でポン」（大鼓、小鼓、締太鼓）</p> <p>【2・3年上】教材数 2 雅楽「越天楽」（平調）一管弦 ・唱歌を用いて「越天楽」を体験しよう（鉦鼓、釣り太鼓、箏、鞆鼓） 能「羽衣」 ・キリから（大ノリ）「東遊びの数々に～」の繰り返しの部分の大鼓、小鼓、太鼓の唱歌及び合奏</p> <p>【2・3年下】教材なし</p>	<p>教材数 19 ◇箏（こと）教材数 7 「練習曲1」「練習曲2」「さくらさくら」 「荒城の月」「六段の調べ（三段 冒頭部分）」 「こきりこ節」「もののけ姫」</p> <p>◇三味線 教材数 1 「さくらさくら」</p> <p>◇篠笛 教材数 7 「たこたこあがれ」「ひらいたひらいた」 「さくらさくら」「子守歌」「祭囃子」 「一番星見つけた」「夜空を見上げて」</p> <p>◇和太鼓 教材数 2 「基本のリズム」「千の海響 望の章」</p> <p>◇尺八 教材数 1 「もういいかい」</p> <p>◇三味線と打楽器の合奏 教材数 1 長唄「勸進帳」から「寄せの合方」（和楽器による合奏）</p>	<p>【1年】教材数 3 雅楽「平調 越天楽」一管弦 ・「越天楽」の唱歌を歌おう（箏の唱歌）</p> <p>箏曲「六段の調」 ・箏の平調子 ・左手の奏法「引き色」「後押し」 ・箏曲の楽譜（縦書き譜例と横書き譜例）</p> <p>「谷茶前」 ・三線の縦書き譜</p> <p>【2・3年上】教材なし</p> <p>【2・3年下】教材数 1 能「敦盛」 ・「中之舞」に挑戦しよう 大鼓、小鼓、笛の唱歌による合奏</p>	<p>教材数 16 ◇箏（こと）教材数 6 「虫づくし」「姫松」 「六段の調」から「四段」 「さくらさくら」「少年時代」「夏祭り」</p> <p>◇三味線 教材数 2 「こきりこ」「荒城の月」</p> <p>◇篠笛 教材数 5 「たこたこあがれ」「ほたるこい」 「火祭りの踊り」「もののけ姫」 「MATSURI」</p> <p>◇和太鼓 教材数 1 「風にのって」</p> <p>◇尺八 教材数 1 「夕焼けこやけ」</p> <p>◇合奏 教材数 2 「MATSURI」（篠笛+締太鼓+長胴太鼓） 寄せの合方によるリズムアンサンブル（手拍子+膝うちなど）</p>

教科・種目名 音楽・器楽 調査研究事項

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
鑑賞教材のうち、我が国や郷土の伝統音楽を扱った鑑賞教材 内容を示す教材名や数・印・表記など	<p>【1年】教材数 2 箏曲「六段の調」 尺八曲「鹿の遠音」</p> <p>◇「日本とアジアの声によるさまざまな表現 教材数 5 「天台声明」「日本の民謡」（「八木節」「江差追分」の比較） 「ケチャ」（インドネシア） 「オルティンドー、ホーミー」（モンゴルル） 「布農くブヌン」族の合唱」（台湾）</p> <p>◇「郷土のさまざまな民謡」 教材数 53 北海道「ソーラン節」「江差追分」「チュプカ カムイラン」 青森県「津軽じょんがら節」 秋田県「ねんねこころろこ」「秋田おぼこ」 岩手県「南部木挽き歌」 宮城県「斎太郎節」 山形県「花笠音頭」 福島県「会津磐梯山」 新潟県「佐渡おけさ」「酒づくり歌」 栃木・群馬県「八木節」 栃木県「足尾石刀節」 茨城県「磯節」 千葉県「銚子大漁節」 埼玉県「秩父音頭」 神奈川県「箱根馬子唄」 東京都「江戸の鳶木遣」 山梨県「縁故節」 長野県「木曾節」「小諸馬子歌」 静岡県「ちゃつきり節」 岐阜県「郡上八幡の盆踊り歌」 愛知県「岡崎五万石」 富山県「こきりこ節」 石川県「長持歌」 福井県「三国節」 三重県「伊勢音頭」 滋賀県「淡海節」 京都府「福知山音頭」 和歌山県「串本節」 奈良県「吉野川筏歌」 兵庫県「デカンショ節」 広島県「音戸の舟歌」 鳥取県「貝がら節」 島根県「安来節」 岡山県「下津井節」 香川県「こんびら船々」 高知県「ヨサコイ節」 愛媛県「伊予節」 徳島県「阿波よしこの節」 福岡県「黒田節」 山口県「男なら」 大分県「鶴崎踊」 佐賀県「佐賀箏笛長持歌」 長崎県「長崎ぶらぶら節」 鹿児島県「鹿児島おほら節」 熊本県「五木の子守唄」 宮崎県「ひえつき節」 沖縄県「朝花節」「谷茶前」「月ぬ美しゃ」</p> <p>【2・3年上】教材数 3 雅楽「越天楽」（平調）一管絃一 能「羽衣」キリから「東遊びの数々に～」の部分 能「敦盛」キリから「波の打物抜いて～」の部分</p> <p>◇「郷土の音楽や芸能」 教材数 4 「鹿踊（ししおどり）」（金津流獅子躍） 「獅子舞」＜神田神社＞ 「龍踊（じゃおどり）」＜長崎くんち＞ 「虎舞」＜八戸三社大祭＞</p> <p>◇「各地のさまざまな祭りや芸能」 教材数 8 福岡県「博多祇園山笠」 広島県「壬生の花田植」 徳島県「阿波踊り」 大阪府「天神祭」 愛知県「犬山祭」 東京都「三社祭」 埼玉県「秩父夜祭」 岩手県「早池峰神楽」</p> <p>【2・3年下】教材数 2 歌舞伎「勧進帳」 文楽「義経千本桜」から二段目 大物浦の段</p>	<p>教材数 4 「さくら変奏曲」 長唄「秋色種」から虫の合方 長唄「鞍馬山」からセリの合方 長唄「勧進帳」から寄せの合方</p>	<p>【1年】教材数 2 雅楽「平調 越天楽」一管絃一 箏曲「六段の調」</p> <p>◇日本の民謡 教材数 3 「南部牛追唄」「伊勢音頭」「谷茶前」</p> <p>◇「郷土に伝わる民謡を調べよう」教材数 57（民謡の分類別） ・仕事歌：「ソーラン節」「南部牛追唄」「斎田郎節」「草津節」 「網のし唄」「江戸の鳶木遣」「箱根馬子唄」「小諸馬子唄」 「吉野川筏唄」「貝殻節」「祖谷の粉ひき節」「音戸の舟唄」 「刈干切唄」 ・座興歌：「江差追分」「津軽じょんがら節」「秋田おぼこ」「岡崎五万石」「名古屋甚句」「ちゃつきり節」「伊勢音頭」「山中節」「下津井節」「金毘羅船々」「安来節」「男なら」「伊予節」「よさこい節」「鹿児島おほら節」「長崎ぶらぶら節」「岳の新太郎さん」「黒田節」 ・踊り歌：「花笠音頭」「会津磐梯山」「佐渡おけさ」「秩父音頭」 「縁故節」「八木節」「日光和楽踊り」「佐渡おけさ」「木曾節」「郡上節」「こきりこ」「三国節」「江州音頭」「河内音頭」 「福知山音頭」「デカンショ節」「鶴崎踊」「谷茶前」 ・祝い歌：「宮城長持唄」「銚子大漁節」「祝いめでた」 「朝花節」 ・子守歌：「江戸子守唄」「根来の子守唄」「五木の子守唄」 「月ぬ美しゃ」</p> <p>【2・3年上】教材数 2 勧進帳「歌舞伎」 文楽「新版歌祭文」から「野崎村の段」</p> <p>◇「受け継ごう！郷土の祭りや芸能」48 （祭礼・神楽・田楽・風流・舞台芸・その他の種類別） アイヌの芸能「アイヌ古式舞踊」 田楽「えんぶり」 風流「西馬音内の盆踊」法会「毛越寺の延年」 舞台芸「黒川能」 田楽「秋保の田植踊」 風流「綾子舞」舞台芸「檜枝岐歌舞伎」 祭礼「鳥山の山あげ行事」 舞台芸「安中中宿の灯籠人形」 祭礼「日立風流物」 舞台芸「大鹿歌舞伎」 祭礼「秩父祭りの屋台行事と神楽」舞台芸「鬼来迎」 神楽「江戸の里神楽」風流「チャッキラコ」 舞台芸「天津司舞」 田楽「西浦の田楽」 舞台芸「知立の山車文楽とからくり」 風流「越中八尾おわら風の盆」祭礼「高山祭りの屋台行事」 舞台芸「尾口のでくまわし」 新年祝福芸「越前万歳」 神楽「伊勢太神楽」 神事芸能「題目立て」 田楽「那智の田楽」 祭礼「長浜曳山祭りの曳山行事」 祭礼「京都祇園祭の山鉾行事」祭礼「天神祭」 舞台芸「淡路人形浄瑠璃」風流「麒麟獅子舞」 神楽「備中神楽」 田楽「壬生の花田植」 神楽「岩国行波の神舞」神楽「石見神楽」 風流「綾子踊」 風流「阿波おどり」 神楽「伊予神楽」 田楽「吉良川の御田祭」祭礼「博多祇園山笠行事」 祭礼「唐津くんちの曳山行事」他「長崎くんちの奉納踊」 他「修正鬼会」神楽「高千穂の夜神楽」 舞台芸「東郷文弥節人形浄瑠璃」祭礼「八代妙見祭の神幸行事」 舞台芸「諸鈍芝居」 風流「エイサー」</p> <p>【2・3年下】教材数3 尺八楽「巢鶴鈴慕」 能「敦盛」 「沖縄の伝統芸能『組踊』に親しもう」</p> <p>◇「伝統音楽の魅力を見つけよう」教材数 3 能「安宅」 歌舞伎「勧進帳」 文楽「鳴響安宅新関」 “勧進帳の段”</p> <p>◇「私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能」教材数 3 鷲宮催馬楽神楽 阿波人形浄瑠璃 秋田竿燈まつり</p>	<p>教材数 10 「手事」から第3楽章“輪舌” 「千鳥の曲」 長唄「鏡獅子」から 津軽三味線 「津軽じょんがら節」 「TAIKO POWER」 「エイサー」 「通り神楽」「阿波おどり」 「鶴の巢籠」</p>

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
<p>表現</p> <p>〔共通事項〕の内容を示すページ(数)・印・表記など</p>	<p>【1年】</p> <p>◇P9「学習MAP」で学習内容と教材、音楽を形づくっている要素との関係を分野ごとに色別に示してまとめている。</p> <p>◇音楽記号は巻末P88～90に「楽典」の見出しで示している。</p> <p>◇歌唱教材や創作題材の左端に縦帯で〔共通事項〕に関連した目標を示し、右端に縦帯で音楽用語等を示しながら囲み枠で一体的に示して学習内容を提示している。</p> <p>◇教材の楽譜中に、音楽を形づくっている要素等を楽譜下に示したり、右端に□で囲んで示したり、楽語の意味を示すページを示したりして知覚と感受を関連付ける工夫をしている。</p> <p>◇「Active!」の印と、両方向矢印マークの「⇔比べてみよう」のコーナーで音楽を形づくっている要素を異なる歌唱教材を用いて要素の働きを比較する工夫をしている。</p> <p>・P16「DO-RE-MI（ドレミの歌）」⇔「エーデルワイス」（書込枠）</p> <p>・P17「夢の翼」⇔P32「あの丘の向こうから」</p> <p>・P18「夏の思い出」⇔P22「赤とんぼ」</p> <p>・P26「明日を信じて」⇔P28「飛び立とう君の空へ」</p> <p>・P34「ソーラン節」⇔P35「かりぼし切り歌」</p> <p>◇「音のスケッチ」では七五調や全体の構成について記載し、キャラクターが創作のポイントとして活動内容を提示している。</p> <p>・P38～39「日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう」</p> <p>・P40～41「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」</p> <p>◇「Sing! Sing!」や「Active!」「Let's Try!」のページに演奏形態や旋律のまとまり、形式に関わるフレーズ、指揮法、音階等を記載し、キャラクターが気付きや活動を示している。</p> <p>・P12～13「歌うための準備」</p> <p>・P24「言葉の発音について」</p> <p>・P25「指揮をしてみよう」</p> <p>・P30～31「変声と混声合唱」</p> <p>【2・3年上】</p> <p>◇P9「学習MAP」で学習内容と教材、音楽を形づくっている要素との関係を分野ごとに色別に示してまとめている。</p> <p>◇P88～90 音楽用語等を「楽典」の見出しにまとめて示している。</p> <p>◇歌唱教材や創作題材の左端に縦帯で〔共通事項〕に関連した目標を示し、右端に縦帯で音楽用語等を示しながら囲み枠で一体的に示して学習内容を提示している。</p> <p>◇教材の楽譜中に、音楽を形づくっている要素等を楽譜下に示したり、右端に□で囲んで示したり、楽語の意味を示すページを示したりして知覚と感受を関連付ける工夫をしている。</p> <p>◇「⇔比べてみよう」で音楽を形づくっている要素を異なる歌唱教材を用いて要素の働きを比較する工夫をしている。</p> <p>・P16「浜辺の歌」⇔P20「早春賦」</p> <p>・P28「そよぐ風の中で」⇔P30「この星のどこかで」</p> <p>◇「音のスケッチ」で、リズムの組み合わせや平調子の特徴について記載し、キャラクターが創作する際の気付きを示している。</p> <p>・P32～P33「リズムパターンをつくろう」</p> <p>・P34～P35「平調子の特徴を生かして音楽を作ろう」</p> <p>◇「Sing! Sing!」や「Active!」、「Let's Try!」の各コーナーで演奏形態や旋律のまとまり、指揮法、音階等を記載している。</p> <p>・P14「Active!」：「You Can Fly!」（女声パートと男声パートのテクスチャの変化に注意して歌ってみましょう。）</p> <p>・P23「Active!」：「旋律のまとまり」（「浜辺の歌」と「早春譜」の旋律のまとまりの比較と各教材の歌唱表現の工夫）</p> <p>・P51～52「唱歌を用いて「越天楽」を体験しよう」</p> <p>・P56～57「能の音楽を体験しよう」</p>	<p>◇教材ごとにページの左上に〔共通事項〕に関連したねらいとポイントを記載している。</p> <p>◇「表現の仕方を調べてみよう PART-1、PART-2」で〔共通事項〕を基に比較できるよう編集している。</p> <p>◇楽典は教材ごとに表記し、巻末の資料で示している。</p> <p>◇箏、三味線では調弦法や日本音階について示している。</p>	<p>【1年】</p> <p>◇P92「音楽を形づくっている要素」に各要素について教材の一部を例として抜粋し、要素の働きについてイラストを付して説明している。</p> <p>◇P93「ちょうちょう」の旋律を用いて「音楽を形づくっている要素」の各要素（音色、旋律、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成）の働きについて例示している。</p> <p>◇P9「『中学生の音楽1』の学習内容」で歌唱・創作・鑑賞の各分野ごとに学習内容及び音楽を形づくっている要素とその働きをマトリックス表にまとめて記載している。</p> <p>◇音楽記号等は各教材の右上に示し、巻末P94～97に「音楽の約束」のロゴマークを付して掲載している。</p> <p>◇各教材名の下に〔共通事項〕の音楽を形づくっている要素を基とした活動のねらいを示すと共に、見開きページの左端に縦帯で目標と共に〔共通事項〕の音楽を形作っている要素を示している。</p> <p>◇「学びのコンパス」で曲の構成、旋律の特徴や強弱、形式に関わるフレーズや旋律の重なり方等を記載し、歌唱教材の表現の工夫を提示している。</p> <p>・P19「旋律の特徴や曲の構成を捉えよう」</p> <p>・P26「自分たちの表現を工夫しよう」</p> <p>・P32「自分たちの表現を工夫しよう」</p> <p>◇「注目するポイント」というロゴで〔共通事項〕を表記している。</p> <p>・P32「自分たちの表現を工夫しよう」</p> <p>・P40「指揮をしてみよう!」</p> <p>・P91「音楽の学びを振り返ろう」</p> <p>◇キャラクターが〔共通事項〕の内容を示している。</p> <p>・P14「音楽のジャンルによっては他にもいろいろな声の出し方があるよね」</p> <p>・P16「楽器で演奏する場合は、リズムに合う音色の楽器を選ぼう。」</p> <p>「みんなでリズムを打って、音の重なりを楽しもう。」</p> <p>「リズムを反復させた後、違うリズムに変化させると、新鮮な感じがするね」</p> <p>・P19「このような曲の構成を二部形式というよ。」</p> <p>・P25「旋律や強弱が大きく変化するのは何段目かな?」「この曲の構成は二部形式だね。」</p> <p>・P27「旋律の動き（音のつながり方）や強弱記号に注目して考えてみよう。」</p> <p>・P38「「はじめ」と「終わり」の場面を、同じにしたらどうかな?「はじめ」の音楽を反復させてみようよ。」</p> <p>【2・3年上】</p> <p>◇P92～93「音楽を形づくっている要素」にそれぞれの要素について文章の説明があり、教科書に記載されている教材の一部を例として取り上げ、イラストを付けて説明を分かりやすく補足している。</p> <p>◇P8「『中学生の音楽2・3上』の学習内容」で歌唱・創作・鑑賞の各分野ごとに「学びの地図」として「学習内容」及び音楽を形づくっている要素とその働きをマトリックス表にまとめて記載している。</p> <p>◇音楽記号等は各教材の右端に示し、巻末P95～97に「音楽の約束」の見出しでまとめて掲載している。</p> <p>◇各教材名の下に〔共通事項〕の音楽を形づくっている要素を基とした活動のねらいを示すと共に、見開きページの左端に縦帯で目標と共に〔共通事項〕の音楽を形作っている要素を示している。</p> <p>◇「学びのコンパス」で歌唱教材の曲の構成、旋律の動きとフレーズ、曲想の変化等を記載し、表現の工夫のポイントを提示している。</p> <p>・P16「パートの役割と重なり方を確かめよう」</p> <p>・P22～23「自分たちの表現を工夫しよう」</p> <p>・P29「曲想の変化を捉えよう」</p> <p>◇P30～31「My Melody」、P34～35「Let's Create!」にリズム、旋律、音色、構成等を記載し、キャラクターが〔共通事項〕の内容を示している。</p>	<p>◇教材ごとに左側に〔共通事項〕に関連した学習のねらいとポイントを記載している。</p> <p>◇各教材のページ左側に目標や具体的な学習活動、音楽を形づくっている要素を示している。</p> <p>◇P8「学習内容」を示すページでは、資質・能力の三つの柱と対応する学習内容や教材を示している。また同じページに「音楽を形づくっている要素」を記載している。</p> <p>◇学びのコンパス P55「曲の構成を捉えよう」</p> <p>「1と2のパートの役割はそれぞれどうなっているかな」「リズムや強弱はAの部分と比べてどう変わったかな?」「AとIで変化を付けるにはどう演奏するといいいかな」</p> <p>◇アンサンブルでは、楽器の組み合わせや曲について、工夫するポイントをまとめて示している。</p> <p>◇P106「音楽の約束」で、楽典の説明がされている。</p> <p>◇箏、三味線では調弦法や音階について示している。</p> <p>◇ギターはコードネームを記載している。</p> <p>◇「注目するポイント」で表現を工夫するために重要な共通事項が示している。</p> <p>・P55「今日の構成を捉えよう」</p> <p>・P85「音の重なり方の特徴を捉えよう」</p>

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
〔共通事項〕の内容を示すページ(数)・印・表記など	<p>表現</p> <p>【2・3年下】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇P9「学習MAP」で学習内容と教材、音楽を形づくっている要素との関係を分野ごとに色別に示している。</li> <li>◇P88～90「楽典」で音楽記号等をまとめて示している。</li> <li>◇歌唱教材や創作題材の左端に縦帯で〔共通事項〕に関連した目標を示し、右端に縦帯で音楽用語等を示しながら囲み枠で一体的に示して学習内容を提示している。</li> <li>◇教材の楽譜中に、音楽を形づくっている要素等を楽譜下に示したり右端に□で囲んで示したり、楽語の意味を示すページを示したりして、知覚と感受を関連付ける工夫をしている。</li> <li>◇「⇔比べてみよう」で音楽を形づくっている要素を異なる歌唱教材を用いて働きを比較する工夫をしている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・P10「花」⇔P16「荒城の月」</li> <li>・P20「帰れソレントへ」⇔P22「Top of the world」</li> <li>・P24「旅立ちの日に」⇔P26「ぜんぶ」</li> </ul> </li> <li>◇「Sing! Sing!」や「Active!」、「Let's Try!」のページに演奏形態や旋律のまとまり、形式に関わるフレーズ、指揮法、音階等を記載し、思考を深めるポイントとして提示している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・P19「フレーズと形式」/P28「指揮をしてみよう」/P46～47「長唄「勸進帳」をうたおう」</li> </ul> </li> <li>◇「音のスケッチ」で、音楽を形づくっている要素のうちの言葉のリズムや音階を記載し、創作のポイントとして提起している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・P31～32「言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう」</li> <li>・P32～33「CMソングをつくろう」</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「注目するポイント」のロゴで〔共通事項〕を表記している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・P16「パートの役割と重なり方を確かめよう」</li> <li>・P22「自分たちの表現を工夫しよう」</li> <li>・P29「曲想の変化を捉えよう」</li> <li>・P46「指揮をしてみよう！」</li> <li>・P86「自分たちの表現を工夫しよう」</li> <li>・P94「音楽の学びを振り返ろう」</li> </ul> </li> <li>◇「リズムで楽しもう」のページにリズム、曲の構成等を記載しキャラクターが〔共通事項〕の内容を示している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・P32「リズムゲーム」</li> <li>・P33「リズムアンサンブル／リズムチャレンジ」</li> </ul> </li> </ul> <p>【2・3年下】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇P96「音楽を形づくっている要素」について、教材を抜粋してイラストを付け各要素の働きを分かりやすく補足している。</li> <li>◇P8「『中学生の音楽2・3下』の学習内容」で歌唱・創作・鑑賞の各分野ごとに「学びの地図」として「学習内容」及び音楽を形づくっている要素とその働きをマトリックス表にまとめて記載している。</li> <li>◇音楽記号等は各教材の右端に示し、巻末P95～97に「音楽の約束」の見出しでまとめて掲載している。</li> <li>◇各教材名の下に〔共通事項〕の音楽を形づくっている要素を基とした活動のねらいを示すと共に、見開きページの左端に縦帯で目標と共に〔共通事項〕の音楽を形作っている要素を示している。</li> <li>◇「My Melody」P28～29、「Let's Create!」P30～31にリズム、速度、旋律、構成等を記載し、キャラクターが気付きや活動を示している。</li> <li>◇「注目するポイント」のロゴで〔共通事項〕の音楽を形作っている要素を示している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・P53「伝統音楽の魅力を見つけよう」</li> <li>・P68「指揮をしてみよう」</li> <li>・P89「音楽の学びを振り返ろう」</li> </ul> </li> </ul>	
	<p>鑑賞</p> <p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇教材の左側に〔共通事項〕に関連した学習のねらいを示し、楽曲を比較しながら主教材の特徴に気付くよう工夫している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・P48「魔王（シューベルト）」⇔P49「魔王（ライヒャルト）」</li> <li>・P52 箏曲「六段の調」⇔P56尺八曲「鹿の遠音」＋「日本とアジアをつなぐ音」</li> </ul> </li> <li>◇歌曲による形式や構成の違いについて記載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・P48「魔王（シューベルト）」、P49「魔王（ライヒャルト）」</li> </ul> </li> <li>◇〔共通事項〕に着目した記録用ワークシートが記載されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・P47「春」第一楽章（聴き取ったことと感じ取ったこと）</li> </ul> </li> <li>◇五音音階（律音階・沖縄音階・都節音階・民謡音階）について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・P37「郷土のさまざまな民謡」</li> </ul> </li> <li>◇「楽曲について」のコーナーでリトルネッロ形式について記載している。（リトルネッロ部とエピソード部） <ul style="list-style-type: none"> <li>・P45「春」第1楽章</li> </ul> </li> <li>◇音階（平調子）や曲の構成について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・P52 箏曲「六段の調」</li> </ul> </li> <li>◇「どんな特徴があるかな？」の見出しで「音楽を形づくっている要素」の各要素の働きの解説を付し、「きらきら星変奏曲」を教材として変奏1～3の譜例を提示し、音楽を形づくっている要素の各要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取れるよう、話し合う課題として提示している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・P62「きらきら星変奏曲」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「聴いてみよう」を活用し〔共通事項〕の音楽を形づくっている要素の働き等に気付くように工夫している。</li> <li>◇プラスのマークの「深めてみよう」のコーナーで発展的な各種奏法を示すと共に同ページに「聴いてみよう」のコーナーを設け、鑑賞教材と関連させて各種奏法による音色の変化の効果性を考えるための工夫がある。</li> </ul>	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇P92～93「音楽を形づくっている要素」の各要素について、歌唱教材の旋律等の一部を抜粋しイラストを付けてその働きについて分かりやすく説明している。</li> <li>◇P93で「ちょうちょう」の旋律を用いて「音楽を形づくっている要素」の働きを説明している。</li> <li>◇P9「『中学生の音楽1』の学習内容」で歌唱・創作分野と共に鑑賞分野の学習内容及び音楽を形づくっている要素とその働きをマトリックス表にまとめて記載している。</li> <li>◇音楽記号等は各教材のページ右上に示し、巻末P94～97に「音楽の約束」の見出しでまとめて掲載している。</li> <li>◇各教材名の下に〔共通事項〕の音楽を形づくっている要素を基とした活動のねらいを示すと共に、見開きページの左端に縦帯で目標と共に〔共通事項〕の音楽を形作っている要素を示している。</li> <li>◇「学びのコンパス」で教材の曲の構成、旋律の特徴や強弱、形式に関わるフレーズや旋律の重なり方等を記載し、歌唱表現の工夫のポイントを示している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・P45「音楽の特徴を捉えよう」/P49「曲想の変化を捉えよう」/P54「平調 越天楽」の響きを味わおう</li> </ul> </li> <li>◇「注目するポイント」の〔共通事項〕を表記している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・P54「平調 越天楽」の響きを味わおう</li> </ul> </li> <li>◇キャラクターが音楽を形づくっている要素の働きを示している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・P40「Cの部分の後半では、力強い感じの音楽になったよ。演奏する楽器や強弱が関係しているのかな。」</li> <li>・P49「それぞれの登場人物の部分では、どんな曲想を感じ取れるかな？旋律、リズム、音の高低と歌詞の内容とを関わらせて考えてみよう。」</li> <li>・P54「打物のリズム、竜笛と箏の旋律、旋律の楽器とその他の楽器との音の重なり方などに注目して考えてみよう。」</li> </ul> </li> </ul>	◇特に記載はない。

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
(共通事項)の内容を示すページ(教)・印・表記など 鑑賞	<p><b>【2・3年上】</b></p> <p>◇教材の左側に〔共通事項〕に関連した学習のねらいを示し、楽曲を比較しながら主教材の特徴に気付くよう工夫している。</p> <p>◇「⇔比べてみよう」で〔共通事項〕の音楽を形づくっている要素を基に鑑賞教材の特徴に気付くよう工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P36「小フーガ ト短調」⇔P40「交響曲第5番 ハ短調作品67」</li> <li>・P44「ボレロ」⇔P47 組曲「惑星」から第1曲「火星」</li> </ul> <p>◇リズムの特徴や旋律の反復による曲想の変化、曲の構成について記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P44「ボレロ」</li> <li>・P47 組曲「惑星」から第1曲「火星」</li> </ul> <p>◇楽曲による形式や構成の違いについて記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P36「小フーガ ト短調」</li> <li>・P40「交響曲第5番 ハ短調作品67」</li> </ul> <p>◇いろいろな楽器の音色や関わり方、旋律の特徴について記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P44「ボレロ」</li> <li>・P48 雅楽「越天楽」(平調)ー管弦ー</li> </ul> <p>◇「どんな特徴があるかな？」の見出しで「音楽を形づくっている要素」の各要素の働きを解説を付し、「アルルの女」を教材として、1回目の主題、1回目のあとの変奏、2回目の主題、2回目の主題のあとの変奏、3回目の主題の譜例を提示し、音楽を形づくっている要素の各要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取ることができるよう、話し合う課題として提示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P62「アルルの女」第1組曲「前奏曲」</li> </ul> <p><b>【2・3年下】</b></p> <p>教材の左側に〔共通事項〕に関連した学習のねらいを示し、楽曲を比較しながら主教材の特徴に気付くよう工夫している。</p> <p>◇「表現の仕方を調べてみよう」で、歌舞伎「勧進帳」とオペラ「アイーダ」を教材として「音楽の役割」「音楽の特徴」「自分が着目したこと」を比較する書き込み枠を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P52 歌舞伎「勧進帳」とオペラ「アイーダ」の比較</li> </ul> <p>◇「⇔比べてみよう」で〔共通事項〕を基に鑑賞教材の特徴に気付くよう工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P34「ブルタバ(モルダウ)」⇔P37 交響詩「フィンランディア」</li> <li>・P42 歌舞伎「勧進帳」⇔P48 文楽「義経千本桜」から「二段目 大物浦の段」</li> </ul> <p>◇曲想と曲の構成について記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P34「ブルタバ(モルダウ)」、P37 交響詩「フィンランディア」</li> </ul> <p>◇「どんな特徴があるかな？ プレゼンしよう」の見出しで「音楽を形づくっている要素」の各要素の働きを解説し、3年間の授業で鑑賞した楽曲や歌った曲、楽器で演奏した曲などから自分が推す曲を選び、曲の特徴や音楽を形づくっている要素との関わりについて調べて、曲のよさや聴きどころなどをプレゼンする課題を提示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P53「どんな特徴があるかな？プレゼンしよう」</li> </ul>		<p><b>【2・3年上】</b></p> <p>◇P92～93「音楽を形づくっている要素」の各要素について、歌唱教材の旋律等の一部を抜粋し、イラストを付けてその働きについて説明している。</p> <p>◇P9「『中学生の音楽2・3上』の学習内容」で、歌唱・創作分野と共に鑑賞分野の学習内容及び音楽を形づくっている要素とその働きをマトリックス表にまとめて記載している。</p> <p>◇音楽記号等は各教材のページ右上に示し、巻末P95～97に「音楽の約束」の見出しでまとめて掲載している。</p> <p>◇各教材名の下に〔共通事項〕の音楽を形づくっている要素を基とした活動のねらいを示すと共に、見開きページの左端に縦帯で目標と共に〔共通事項〕の音楽を形づくっている要素を示している。</p> <p>◇教材に「Challenge!!」「聴き比べよう」を表示し、〔共通事項〕を確認してその働きを考える工夫がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P37「パイプオルガンの豊かな響きを、他の曲でも聴いてみましょう。」</li> <li>・P41「演奏者による表現の違いを聴き比べてみましょう。」</li> </ul> <p>◇「学びのコンパス」で教材の曲の構成、旋律の特徴や強弱、形式に関わるフレーズ、旋律の重なり方等を記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞 P42「曲の構成や曲想の変化を捉え、音楽を味わおう」</li> <li>・P61「オペラと歌舞伎のよさについて考えよう」</li> <li>・P71「世界の諸民族の音楽を探ろう」</li> </ul> <p>◇キャラクターが〔共通事項〕の内容を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P39「☆の旋律は、どの部分に似ているかな？」</li> <li>・P42「楽器の音色、リズム、旋律の動き(音の高低)、調性(長調・短調)、強弱、構成(反復・変化)などに注目してみよう。」</li> <li>・P59「長唄とオペラを比べると、声や楽器の音色にどのような違いがあるかな？」</li> </ul> <p><b>【2・3年下】</b></p> <p>◇P96「音楽を形づくっている要素」に各要素について歌唱教材の旋律等の一部を抜粋し、イラストを付けてその働きについて説明している。</p> <p>◇P9「『中学生の音楽2・3下』の学習内容」で歌唱・創作分野と共に鑑賞分野の学習内容及び音楽を形づくっている要素とその働きをマトリックス表でまとめて記載している。</p> <p>◇音楽記号等は各教材のページの右上に示し、巻末P97に「音楽の約束」の見出しでまとめて掲載している。</p> <p>◇各教材名の下に〔共通事項〕の音楽を形づくっている要素を基とした活動のねらいを示すと共に、見開きページの左端に縦帯で目標と共に〔共通事項〕の音楽を形づくっている要素を示している。</p> <p>◇「注目するポイント」として〔共通事項〕を表記している。</p> <p>◇教材に「Challenge!!」を表示し、〔共通事項〕を確認してその働きを考える工夫がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P32「ブルタバ(モルダウ)」：「祖国への思いが託された他の曲も聴いてみましょう。」</li> <li>・P39組曲「展覧会の絵」から：「ピアノによる原曲も聴いてみましょう。」</li> </ul> <p>◇キャラクターが〔共通事項〕の内容を示している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P34「ブルタバを表す旋律に注目して聴いてみよう。Fはどのようなかな？」</li> <li>・P36～37「小太鼓のリズムを打ってみよう。」</li> <li>「金管楽器、木管楽器、弦楽器、それぞれの音色が聴こえるかな。」</li> <li>「旋律Aと旋律Bの繰り返しと、楽器の組み合わせの変化に注目しよう。」</li> </ul>	

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
技能の習得を図るための配慮を示すページ(数)・印・表記など	<p><b>【1年】</b></p> <p>◇「Sing! Sing!」「Let's Try!」のページで基礎的な歌唱スキルを育む活動を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P12～13「歌うための準備」</li> <li>・P24「言葉の発音について」</li> <li>・P25「指揮をしてみよう」</li> <li>・P30～31「変声と混声合唱」</li> </ul> <p>◇「まなびリンク」の二次元コードを読むことで楽曲の情報を得ることができる。</p> <p>◇各ページのキャラクターが技能習得のヒントを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P12 Sing! Sing!「歌うための準備」 「おなかの筋肉を確かめてみましょう。脇腹に手をそえて軽く咳をしてみましょう。動くのがわかりますか？」</li> <li>・P13「イ(i)やエ(e)は、口の形が潰(つぶ)れてしまいがちです。鏡を見てチェックしましょう。」</li> <li>・P24 Sing!Sing!「言葉の発音について」 「『夏の思い出』の1番の歌詞には、「鼻濁音」になるところが5か所あります。発音に気をつけて歌ってみよう。」</li> <li>・P30 Sing!Sing!「変声と混声合唱」 「今、声が出にくくなっているので、声量を工夫して無理のないように歌っています。」「声の出しやすい音域が変わってきたみたい。他のパートを試してみようかな。」</li> <li>・P31「主旋律の声部を確かめ、曲にふさわしいバランスを考えながら表現しましょう。」</li> </ul> <p>◇P12～13「歌うための準備」のコーナーに「やってみよう」の見出しを付けてスタカートや音が跳躍する部分の歌い方の発声法について具体的にキャラクターがアドバイスしている。</p> <p><b>【2・3年上】</b></p> <p>◇「Sing! Sing!」のページで基礎的な歌唱技能を身に付ける活動を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P15「歌うための準備」</li> </ul> <p>◇「まなびリンク」の二次元コードを読むことで楽曲の情報を得ることができる。</p> <p>◇唱歌を歌う活動の意義を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P51 「Let's Try!」 唱歌を用いて「越天楽」を体験しよう</li> <li>・P56～57 「Let's Try!」 能の音楽を体験しよう</li> </ul> <p><b>【2・3年下】</b></p> <p>◇「Let's Try!」のページで、合唱教材「ぜんぶ」を基に、二次元コードによって指揮動画を示し、基礎的な歌唱スキルと共に、基礎的な指揮法を提示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P28～29「指揮をしてみよう」</li> </ul> <p>◇「まなびリンク」の二次元コードを読むことで楽曲の情報を得ることができる。</p> <p>◇キャラクターが技能を習得するヒントを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P10「帰れソレントへ」</li> <li>・P17「荒城の月」</li> <li>・P18「花」</li> <li>・P46 Let's Try!「長唄『勸進帳』をうたおう」</li> </ul>	<p>◇和楽器を扱う教材は口唱歌を表記している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箏「さくらさくら」(唱歌)</li> </ul> <p>「六段の調」から三段の冒頭(唱歌)</p> <p>◇三味線「さくらさくら」(口三味線)</p> <p>◇篠笛「祭囃子」(唱歌)</p> <p>◇尺八「もういいかい」(唱歌)</p> <p>◇「唱歌について」(尺八・箏・三味線・太鼓)</p> <p>◇「楽器と唱歌によるパッチワーク」</p>	<p><b>【1年】</b></p> <p>◇「My Voice 自分の声を見つけよう」で、キャラクターが基礎的な発声の技術を身に付ける助言をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P14～15「変声の始まっていない男子は、ソプラノやアルトのパートのほうで、音域的に歌いやすい場合があるよ。無理に声を出そうとせず、自分の歌いやすい音域を見つけて歌うといいね。」</li> </ul> <p>◇教材の左端に示す題材目標を教材名の下に具体的なねらいとして示している。</p> <p>◇「学びのコンパス」で歌唱教材の工夫のポイント(例:旋律の特徴や曲の構成を捉えよう)を示し、キャラクターが歌唱技能の習得に関連させたアドバイスをしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P19「おなかの支えをしっかりと保ちながら、息の流れが帯のように伸びていくイメージで声を出すと、のびやかに歌うことができるよ。」</li> <li>・P33「合唱祭などに向けて練習するときにも、こうやってさまざまなことに注目して表現を工夫するといいんだね。」 「通して歌ったとき、全体的にまとまりが出るようにするには、何に気をつけたらいいかな？」</li> </ul> <p>◇P55「『越天楽』の唱歌を歌おう」で唱歌のポイントを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箏の演奏を聴いて、楽器の音色や旋律の特徴を感じ取りましょう</li> <li>・唱歌の演奏をまねて、拍子を取りながら大きな声で歌いましょう</li> <li>・歌う時の姿勢は、背筋を伸ばし、肩の力を抜いて椅子に座る</li> </ul> <p>◇P60「ソーラン節」で、日本の民謡を歌うに当たって、演奏者からのアドバイスを記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一人一人の声を大切に、太くて力強い声をイメージしながら、おなかの底から声を出す感じで歌いましょう。」</li> </ul> <p><b>【2・3年上】</b></p> <p>◇発声、指揮のページで、基礎的な歌唱技能を身に付ける活動をキャラクターがアドバイスをしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P17「My Voice 自分の思いを歌声にのせよう」</li> <li>・P23「My Voice 鼻濁音」</li> <li>・P46～P47「指揮をしてみよう！」</li> </ul> <p>◇「歌い継ごう日本の歌」「心通う合唱」に各教材の歌唱技能の到達目標を示している。</p> <p>◇「学びのコンパス」でキャラクターが曲の構成、旋律の特徴や強弱、形式に関わるフレーズ、旋律の重なり方等をアドバイスしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P16「パートの役割と重なり方を確かめよう」</li> <li>・P22～23・86「自分たちの表現を工夫しよう」</li> <li>・P29「曲想の変化を捉えよう」</li> </ul> <p><b>【2・3年下】</b></p> <p>◇発声、指揮のページでキャラクターが基礎的な歌唱技能を身に付けるアドバイスをしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P19「My Voice 豊かな歌声で、気持ちをこめて歌おう」</li> <li>・P68～69「指揮をしてみよう！」</li> </ul> <p>◇「歌い継ごう日本の歌」「心通う合唱」に各教材の歌唱技能の到達目標を示している。</p>	<p>◇和楽器を扱う教材は口唱歌を表記している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P40「唱歌を歌ってみよう」 歌う時のポイント</li> <li>・P42「さくらさくら」 弾き歌いをするときには、歌詞が聴き手に伝わるよう工夫して歌う</li> <li>・P49 口三味線(唱歌) 唱歌を歌って、旋律のまとまりや曲全体の流れを感じ取りましょう。</li> <li>・P53 太鼓の唱歌 リズムや音の感じなどを言葉で表現しています。</li> </ul>

調査項目		発行者名			
		17 教出		27 教芸	
		音楽	器楽	音楽	器楽
技能の習得を図るための配慮を示すページ(数)・印・表記など	器楽技能	<p>【1年】</p> <p>◇P65 リコーダーの運指表とコードネーム表をページ全体にまとめて記載している。</p> <p>【2.3年上】</p> <p>◇P67 リコーダーの運指表とコードネーム表をページ全体にまとめて記載している。</p> <p>【2.3年下】</p> <p>◇P69 リコーダーの運指表とコードネーム表をページ全体にまとめて記載している。</p>	<p>◇「まなびリンク」の二次元コードによって模範演奏の視聴ができる。</p> <p>◇楽器別に見開きごとにまとめの曲を配置し、技能の習得のゴールイメージを示している。</p> <p>◇リコーダーのページは、各教材ごとに両端に運指表を示している。</p> <p>◇楽器ごとに鮮明な演奏写真を多く掲載している。</p> <p>◇箏の楽譜は五線譜と家庭式縦譜の二種類を表記している。</p> <p>◇プラスのマークの「深めてみよう」で発展的な各種奏法を示している。</p>	<p>【1年】</p> <p>◇記載はない。</p> <p>【2.3年上】</p> <p>◇記載はない。</p> <p>【2.3年下】</p> <p>◇記載はない。</p>	<p>◇二次元コードが各楽器の奏法の動画や楽器の説明等を示している。</p> <p>◇楽器ごとに、歴史、名称、種類、奏法、練習のポイント、演奏のポイントを示している。</p> <p>◇リコーダーは教材ごとに両端に運指表を示し、ソプラノ、アルトの両楽器の運指に対応するために教材ごとに2種類の楽譜を並記している。</p> <p>◇楽器ごとに鮮明な演奏写真を多く掲載している。</p> <p>◇日本の伝統的な楽器は、五線譜と伝統的に使用してきた楽譜の二種類を併記している。</p>
	創作技能	<p>【1年】</p> <p>◇創作のページに音のスケッチのロゴを付している。</p> <p>◇二次元コードから日本語の抑揚を生かした旋律創作の支援コンテンツにアクセスできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P38 「日本語の抑揚を生かした旋律をつくらう」の二次元コードから詩の朗読音声にアクセスできる。</li> </ul> <p>◇キャラクターが創作技能を習得するためのアドバイスを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P38 「自分で何度も声に出して読んでみましょう。」</li> <li>「身近にある楽器で音を確認しながらつくみましょう。」</li> <li>・P40 「全体の構成を考えながら音楽を作ろう」</li> <li>「表現した言葉のどれかに、楽器の音を重ねたり動作を加えたりすると、さらにおもしろくなるね。」</li> </ul> <p>◇「チャレンジ」や「もっと楽しもう」の印で高い創作技能を習得する助言を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P39 「チャレンジ」：音を「レ」「ミ」「ソ」「ラ」「ド」に増やしてつくってみよう。/終わりの音も工夫してみよう。</li> <li>・P41 「もっと楽しもう」：もう一度、簡単なストーリーや集めた言葉を検討し、交流したことを参考に作品を作り直してみよう。</li> </ul> <p>【2・3年上】</p> <p>◇「まなびリンク」の二次元コードから楽曲の情報を得ることができる。</p> <p>◇「チャレンジ」や「もっと楽しもう」で技能習得の方法を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P32 「チャレンジ」：活動2でつくったリズムパターンを体や身近な楽器を使って表現してみよう。</li> <li>・P33 「チャレンジ」：「オーラリー」を「ラララ」で歌ったり、リコーダーで演奏したりして曲の雰囲気をつかみ、基本のリズムの1～3カ所の音符を自由につないで、この曲に合いそうなリズムを3種類つくってみよう。</li> <li>・P35 「もっと楽しもう」：「さくらさくら」のイメージに合うように作品をつくり、前奏または後奏にして、表現を楽しんでみよう。</li> </ul> <p>【2・3年下】</p> <p>◇「まなびリンク」の二次元コードを読むことで楽曲の情報を得ることができる。</p> <p>◇P30 「活動1」「活動2」「活動3」によってより技能を習得する手段を示している。</p>	<p>◇「音のスケッチ」はリコーダーの他に、和楽器を使った創作やアンサンブル創作など、各種楽器でさまざまな形式で創作課題を提示している。</p> <p>◇箏の創作課題では、家庭式縦譜を示し、直接記入ができるよう工夫し、文章で創作の道筋を丁寧にガイドしている。</p> <p>◇「まなびリンク」の二次元コードにアクセスすると創作の情報を得ることができる。</p> <p>◇楽譜の記入欄を多く取り、直接教科書に書き込みながら創作の技能が習得できるよう工夫している。</p>	<p>【1年】</p> <p>◇P20～21 「My Melody」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初に「課題や条件」を示している。</li> <li>・創作を始める前に「Warming up」として既習曲を例に音のつながり方を確認している。</li> <li>・番号で創作する順序を示している。</li> <li>・ワークシートが教科書に記載されており、二次元コードを読み込んで、教科書以外に書き込むこともできる。</li> <li>・生徒役のキャラクターが、創作を工夫した部分を具体的に述べている。</li> <li>・先生役のキャラクターが補足説明をしている。</li> <li>「自分がつくりたい旋律のイメージを表現するために、声に出したり、楽器で演奏したりして音の動きを確かめながらつくろう」</li> </ul> <p>◇P38～39 「Let's Create!」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初に「課題や条件」を示している。</li> <li>・生徒役のキャラクターが実際に創作して工夫したポイントを述べていて、創作のヒントを示している。</li> <li>「私たちは林の風景を音楽にしました。晴れている林と雨の降る林の雰囲気の違いを、楽器の材質を変えて表現し、リズムは「はじめ」と「中」で対照的になるように変化させました。」</li> <li>「雨が上がった後の林の穏やかな感じが伝わってきました。「終わり」は「はじめ」と同じ音楽だったので、戻ってきた安心感があったのだと思います。」</li> </ul> <p>◇各ページのキャラクターによって技能を習得するためのヒントを示している。</p> <p>【2・3年上】</p> <p>◇各ページのキャラクターによって技能を習得するためのヒントを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P30 「My Melody」/P32 「リズムゲーム」/</li> <li>・P33 「リズムアンサンブル/リズムチャレンジ」/</li> <li>・P34～35 「Let's Create!」</li> </ul> <p>【2・3年下】</p> <p>◇各ページのキャラクターが技能を習得するためのヒントを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P28～29 「My Melody」</li> <li>・P30～31 「Let's Create!」</li> </ul>	<p>◇「My Melody 創作—日本の音階を使ってまとまりのある旋律をつくらう—」で箏による創作課題を提示し、家庭式縦譜の書き込み欄を設け、創作の道筋を丁寧にガイドしている。</p> <p>◇教科書に書き込みながら創作技能が習得できるよう、「反復」「変化」など創作のポイントを示している。</p>

調査項目		発行者名			
		17 教出		27 教芸	
		音楽	器楽	音楽	器楽
言語活動を充実させる工夫や内容を示すページ(数)・印・表記など	表現	<p>◇グループ活動を取り入れ、考えを書き込むワークシート欄を多く設けて、学び合う活動ができるよう工夫している。</p> <p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P16 「DO-RE-MI (ドレミの歌)」⇔「エーデルワイス」</li> <li>・P40～41「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」</li> <li>・P42～43「くいしんぼうのラップ」</li> </ul> <p>◇キャラクターが意見を交流できるよう助言し、書き込み枠を設けて言語活動を充実させる紙面を工夫している。</p> <p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P16「『「DO-RE-MI (ドレミの歌)」「エーデルワイス」』強弱の変化や、はずんだ感じやなめらかな感じなど、歌い方についてどのような工夫ができるか考えてみましょう。」</li> <li>・P27「『明日を信じて』Active!でまとめたことを生かした表現の仕方について話し合ってみよう。」</li> <li>・P39「『日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう』できあがった作品は、みんなで聴き合ってみましょう。」</li> </ul> <p>【2・3年上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P32～33「リズムパターンをつくろう」</li> <li>P32「つなげる箇所や数によって雰囲気が変わるね」</li> <li>・P34～35「平調子の特徴を生かして音楽をつくろう」</li> <li>P34「平調子は箏の調弦の仕方の一つで、箏曲「六段の調」も平調子です。」</li> </ul> <p>【2・3年下】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P30～31「言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう」</li> <li>P30「ラーメンに関係する言葉を使って、短いフレーズをつくってみましょう」</li> <li>P31「ラーメンや食材を選び直し、交流したことを参考に、もう一度作品をつくってみよう。」</li> <li>・P32～33「CMソングをつくろう」</li> <li>P32「CMソングにする自分の住む地域の名物や名所のキャッチコピーを決め、旋律をつくってみましょう。」</li> <li>P33「全体の構成の例を参考に、もっと自由に構成してみましょう。」</li> </ul>	<p>◇P20「表現の仕方を調べてみようPART-1」</p> <p>P55「表現の仕方を調べてみようPART-2」の「話し合おう」によって、「それぞれの楽器の特徴を踏まえて、共通点や相違点について考えてみよう。そして気がついたことを友達に紹介しよう。」と文章で示し、言語活動が充実するよう紙面を工夫している。</p>	<p>◇グループ活動を取り入れ、キャラクターの吹き出し等を随所に用いてポイントを示し、学び合う活動ができるよう工夫している。</p> <p>【1年】</p> <p>「学びのコンパス」のマークを付して課題を示し、言語活動が充実する紙面を工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P19「旋律の特徴や曲の構成を捉えよう」</li> <li>② ①で書いたことをもとに、この曲の旋律の特徴や曲の構成がどのようにになっているか、グループで話し合みましょう。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P20「My Melody」</li> <li>④「中間発表をしてつくった旋律について、意見交換をしましょう」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P26「自分たちの表現を工夫しよう」</li> <li>③ ②で表に書いた内容」について、ペアやグループで話し合い、自分の考えを広げたり深めたりしましょう。</li> <li>④ ①～③をもとに、まず1段目と2段目をどのように歌いたいかを考え、その内容を下の楽譜に書き入れましょう。その際は、ペアやグループで歌い試しながら取り組みましょう。</li> <li>⑥ペアやグループで工夫したことを歌って発表し、よいと思ったところやアドバイスなど互いに伝えあひましよう。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P33「自分たちの表現を工夫しよう」</li> <li>③ ②で気づいたことや感じ取ったことを手掛かりに、3つのパートを歌い合わせながら、AとBの各部分をどのように歌いたいか話し合っ、下の表に書きましよう。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P38「Let's Create!」</li> <li>②グループで話し合っ音素材を選びましよう。</li> <li>③グループで話し合っながら強弱や構成を工夫して音楽をつくりましよう。</li> <li>④中間発表をして、つくった音楽について意見交換をましよう。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P69「見つけよう！学校の中の「気になる音」」</li> <li>気になる音を集めて友達と紹介し合ひましよう。</li> </ul> <p>【2・3年上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P16「パートの役割と重なり方を確かめよう」に「注目するポイント」を示し、音楽の特徴と工夫したい点を書き込む欄を設けている。</li> <li>・P22～23「自分たちの表現を工夫しよう」で「学びのコンパス」の印を付して、「夏の思い出」の旋律を4段に分けて感じ取ったこととどのように歌いたいかを書き込む欄を設けている。</li> <li>・P30～31「My Melody」：俳句のイメージや工夫点の記入欄がある。</li> <li>・P32「リズムゲーム」：リズムのどのところが好きかについての記入欄を大きく設けている。</li> <li>・P33「リズムアンサンブル／リズムチャレンジ」：つくったリズムがどのような感じになったかを記入する欄がある。</li> <li>・P34～35「Let's Create!」：音の出し方や重ね方、構成を工夫した点を記入する欄がある。</li> <li>・P86「自分たちの表現を工夫しよう」：「学びのコンパス」のマークを付して合唱曲「時の旅人」の表現の工夫を話し合う過程を提示している。</li> <li>・P94「音楽の学びを振り返ろう」：「注目するポイント」を付して、1年間の授業を振り返って印象的な楽曲を紹介する活動を課題提示し記入欄を設けている。</li> </ul> <p>【2・3年下】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P28～29「My Melody」：音のつながりを工夫した点を記入する欄を設けている。</li> <li>・P30～31「Let's Create!」：伴奏の創作活動の過程を示している。</li> <li>・P89「音楽の学びを振り返ろう」：「注目するポイント」を付して、3年間の授業を紹介する活動を課題提示し、記入欄を設けている。</li> </ul>	<p>◇4つの「学びのコンパス」で話し合い活動を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P17「アーティキュレーションを工夫しよう」</li> <li>②友達と話し合ったり、実際に音を出して確かめながら、曲全体のアーティキュレーションを決め、2つのパートに分かれて演奏ましよう。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P55「曲の構成を捉えよう」</li> <li>「1と2のパートの役割はそれぞれどうなっているかな」「リズムや強弱はAの部分と比べてどう変わったかな？」</li> <li>「アとイで変化を付けるにはどう演奏するといひかな」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P81「パートの役割を考えよう」</li> <li>「演奏を聴いたりそれれのパートを演奏したりして、各パートの旋律やリズムなどの特徴を確かめ、それぞれの役割を考えましよう。」</li> <li>・P85「音の重なり方の特徴を捉えよう」</li> <li>「演奏を聴いたり、IとIIのパートのリズムを演奏したりして、ア～オそれぞれの部分について各パートの音色やリズム、2つのパートの音の重なり方、強弱にどのような特徴があるのか確かめましよう。」</li> </ul>

調査項目	発行者名			
	1 7 教出		2 7 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
言語活動を充実させる工夫や内容を示すページ(数)・印・表記など	鑑賞			
	<p>◇「話し合おう」のコーナーで書き込み欄を設け、考えを交流できるような紙面を工夫している。</p> <p>【1年】 P93「日本とアジアをつなぐ音」 P60「日本とアジアの声によるさまざまな表現」</p> <p>【2・3年上】 P39「小フーガ ト短調」 P43 交響曲第5番ハ短調作品67」 P46「ボレロ」 P59「郷土の音楽や芸能」 P63「どんな特徴があるかな？」</p> <p>【2・3年下】 P37 交響詩「フィンランディア」 P41 オペラ「アイダ」から 第2幕 第2場 P45 歌舞伎「勧進帳」 P48 文楽「義経千本桜」から二段目 大物浦の段 P50～51「世界のさまざまな芸能や音楽」 P52「表現の仕方を調べてみよう」 P53「どんな特徴があるかな？」</p> <p>◇キャラクターが鑑賞のポイントや活動を提示している。 (男性の先生、女性の先生、男子生徒、女子生徒)</p> <p>【1年】</p> <p>◇P37 「郷土のさまざまな民謡」 女子生徒：「全国各地の民謡を鑑賞すると、拍節の現れ方や歌い合わせ方、コブシなどの装飾的な表現など、いろいろな特徴を聞き取れます。」 男性の先生：「『「谷茶前」』『こきりこ節』について、歌詞の内容や歌う場面を調べ、それぞれの特徴を聞き取りまとめてみましょう。地域の民謡についても調べてみましょう。」</p> <p>◇P49 「魔王」 女子生徒：「旋律が何度も繰り返されています。魔王の場面をどう表現しているか聴き取ってみましょう。」</p> <p>◇P53 箏曲「六段の調」 女子生徒：「唱歌を意識して聴くと音色やリズムがよくわかります。」 男性の先生：「「六段の調」は緩やかな速度で始まり、段ごとにしだいに速くなり、最後の部分で速度を緩めて終わります。速度の変化を聴き取ってみましょう。」</p> <p>◇P56 尺八曲「鹿の遠音」 先生：「気がついた音楽の特徴をまとめてみましょう。また、発表し交流してみましょう。」</p> <p>◇P63 「きらきら星変奏曲」 男子生徒：「たくさんの星が、きらきらと輝いている様子を思い浮かべたよ。主題と比べると、星の数が多くなって、輝きが増したように感じるなあ。」 女子生徒：「あっ、変奏1に比べ、にぎやかさがなくなって、雰囲気が変わった！」 男性の先生：「みなさんは、変奏1と変奏8を聴いて、どんな違いを感じましたか？その違いは、音楽を形づくっている要素の何によるものなのか、もう一度注意して聴いてみましょう。また、次の変奏12を聴いてみて、音楽を形づくっている要素や、雰囲気の変化などに</p>	<p>◇「聴いてみよう」によって、意見を交流ができるよう課題を提示している。</p> <p>P21 「ブランデンブルク協奏曲第2番から第2楽章」 「ブランデンブルク協奏曲第4番から第1楽章」 P20 「表現の仕方を調べてみようPART-1」 「表現の仕方を調べてみようPART-2」 P47 「さくら変奏曲」</p> <p>◇プラスのマークの「深めてみよう」のコーナーで発展的な各種奏法を示し、鑑賞教材と関連させて各種奏法の効果性を考える工夫をしている。</p>	<p>◇グループ活動を取り入れ、キャラクターの吹き出し等を随所に用いてポイントを示すなど、言語活動が充実する工夫をしている。</p> <p>【1年】 P48「魔王」「曲想の変化を捉えよう」 P54「平調 越天楽」の響きを味わおう P57 箏曲「六段の調」 P65 アジアの諸民族の音楽「アジアの諸民族の音楽を探ろう」</p> <p>【2・3年上】 P42～43「交響曲第5番 ハ短調」 P61「オペラと歌舞伎のよさについて考えよう」 P71「世界の諸民族の音楽」</p> <p>【2・3年下】 P37「ボレロ」 P53「伝統音楽の魅力を見つけよう」 P62「ポピュラー音楽のジャンル（日本編）」</p> <p>◇キャラクターが鑑賞のポイントや活動を提示している。 (男性の先生、女性の先生、男子生徒、女子生徒)</p> <p>【1年】</p> <p>◇P48「魔王」：「曲想の変化を捉えよう」 ① (3) 作曲者は、どのような工夫をしていると思いますか。(1)や(2)をもとに、友達と意見交換をしましょう。</p> <p>◇P54「平調 越天楽」：「「平調 越天楽」の響きを味わおう」 ④ ①～③をもとに、「平調 越天楽」のよさや美しさについて書き、意見交換をしましょう」</p> <p>◇P57 箏曲「六段の調」 ・男性の先生：「全体を通して、速度や曲想はどのように変化しているかな？気づいたことをみんなで話し合おう」</p> <p>◇P65「アジアの諸民族の音楽」：「アジアの諸民族の音楽を探ろう」 ④ ペアやグループになり、自分の選んだ音楽について伝え合ひましょう。その際、自分が聴き取ったことや感じ取ったことを交えて、あなたの考えるよさや美しさも伝えましょう。</p> <p>【2・3年上】</p> <p>◇P38～39「交響曲第5番 ハ短調」 男性の先生：「第1主題と比べて第2主題はどんな感じがするかな？」 女声の先生：「☆の旋律は、どの部分に似ているかな？」 男性の先生：「第1主題が再現されたね。提示部と比べて、どんな響の違いがあるかな？」 P42～43「学びのコンパス」：「曲の構成や曲想の変化を捉え、音楽を味わおう」 女性の先生：「2つの主題の曲想の違いは、音楽のどんな変化から感じられるかな？」 男性の先生：「楽器の音色、リズム、旋律の動き（音の高低）、調性（長調・短調）、強弱、構成（反復・変化）などに注目してみよう。」 女性の先生：「提示部と比べて、他の部分はそれぞれどんな特徴があるかな。」 男性の先生：「感じたことや気に入ったところ、よさや美しさについて、なぜそう思ったのか理由も書こう。」 女性の先生：「この曲が、長い間人々に親しまれている理由についても考えてみよう。」</p>	<p>◇P72 アンサンブル「春」（「和声と創意の試み」第1集「四季」から）でリーダー2重奏を扱い、右上に「原曲のイメージを大切に、フレーズ感をいかしながら、アーティキュレーションを工夫して演奏しましょう」とポイントを示し鑑賞教材との関連を図っている。</p>

調査項目		発行者名			
		17 教出		27 教芸	
		音楽	器楽	音楽	器楽
言語活動を充実させる工夫や内容を示すページ(数)・印・表記など	鑑賞	<p>ついて、聴き取ったり感じ取ったりしたことを、話し合ってみましょう。」</p> <p>【2・3年上】</p> <p>◇P37～38「小フーガ ト短調」 女性の先生：「パイプオルガンの音色について、聴き取ったことや感じ取ったことをメモしておきましょう。」 男子生徒：「『小フーガ ト短調 第1部』の、旋律の現れ方について、聴き取ったことや感じ取ったことをメモしておきましょう。」</p> <p>◇P47「組曲『惑星』から 第1曲『火星』」 ティンパニスト：「最初に、冒頭の特徴あるリズムが繰り返されていることを聴き取りましょう。次に、そのリズムを三つの主題と関わらせ、曲想とその変化を感じ取ってみましょう。」</p> <p>◇P59「郷土の音楽や芸能」 女子生徒：「唱歌は演奏方法をととてもよく表しています。」</p> <p>◇P63「どんな特徴があるかな?『アルルの女』第1組曲『前奏曲』」 男子生徒：「主題から何が変わったのだろうか?」 女子生徒：「1回めの主題と違うところがあるみたい。旋律を担当している楽器は何か?」 男性の先生：「音楽を形づくっている要素や雰囲気が変化したのがよくわかりますね。」</p> <p>【2・3年下】</p> <p>◇P37「交響詩『フィンランディア』」 女性の先生：「感じ取った曲想とその変化をまとめながら鑑賞してみましょう。」</p> <p>◇P41「オペラ『アイダ』から 第2幕 第2場」 男性の先生：「物語の進行と音楽の変化について、聴き取ったことや感じ取ったことをまとめておきましょう。」</p> <p>◇P45「歌舞伎『勧進帳』」 女性の先生：「みなさん、歌舞伎『勧進帳』を鑑賞してどうでしたか? 長唄の特徴や印象に残った場面を、理由とともにまとめておきましょう。」</p> <p>◇P48～49「文楽『義経千本桜』から」 女性の先生：「歌舞伎『勧進帳』と聴き比べて、気づいたことを話し合ってみましょう。」 女子生徒：「太夫は、自分の床本に朱色の墨で譜(曲の節を符号で表したもの)を書き入れ、語り方を工夫しています。」</p> <p>◇P54～57「ポピュラー音楽図鑑」 女子生徒：「主にジャズで用いられる、『スキヤット』と呼ばれる歌唱法があるのを知ってる?」 男子生徒：「『ダバダバ〜』とか『ドゥビドゥビ〜』とかの発音で、楽器の音をまねして歌うんだよね。スキヤットと、実際の楽器の演奏とを聴き比べてみたいな。」 男子生徒：「ポピュラー音楽は、現在もさまざまな音楽が影響し合いながら発展しています。個性豊かな表現を感じ取ってみましょう。」</p>			<p>◇P59 長唄「勧進帳」から 男性の先生：「長唄とオペラを比べると、声や楽器の音色にどのような違いがあるかな?」</p> <p>◇P61「学びのコンパス」：「オペラと歌舞伎のよさについて考えよう」 女性の先生：「音楽表現の相違点や共通点はなぜ生まれるのかな? 文化や歴史、他の芸術など音楽以外の要素とも関わらせながら考えてみよう。」</p> <p>◇P65 文楽「新版歌祭文」から「野崎村の段」 女性の先生：「段切の部分の音楽は、どのような感じの音楽かな? また、この音楽は、どのような効果を生み出しているかな?」</p> <p>◇P69「受け継ごう! 郷土の祭りや芸能」 女性の先生：「郷土に伝わる祭りや芸能を他の地域の人々に紹介できるように、インターネットなどを活用して調べてもいいね。」</p> <p>◇「世界の諸民族の音楽を探ろう」P71 女子生徒：「インターネットなどを活用して詳しく調べてみようかな。」 男性の先生：「『聴き比べよう』の芸能や音楽についても、①～③の手順で確認し、比較してみるといいね。」</p> <p>【2・3年下】</p> <p>◇P34「ブルタバ(モルダウ)」 男性の先生：「ブルタバを表す旋律に注目して聴いてみよう。Fはどうなっているかな?」</p> <p>◇P36～37「ボレロ」 男性の先生：「小太鼓のリズムを打ってみよう。」 女子生徒：「金管楽器、木管楽器、弦楽器、それぞれの音色が聴こえるかな。」 女性の先生：「旋律Aと旋律Bの繰り返すと、楽器の組み合わせの変化に注目しよう。」 男子生徒：「最後の部分に向かって、どんどん盛り上がってきたね。学期が増えたのかな。」</p> <p>◇P38～39 組曲「展覧会の絵」から 男性の先生：「『プロムナード』は、冒頭の他に、第1曲と第2曲の間や、他の曲間でも形を変えて演奏されるよ。それぞれどんな感じがするか、聴いてみよう。」 女性の先生：「ラヴェル以外の編曲者によるオーケストラ版や他の楽器編成の編曲を聴いてみていいね。」</p> <p>◇P53「伝統音楽の魅力を見つけよう」 男性の先生：「謡や義太夫節のはじめの部分の謡ったり語ったりして、長唄との違いを感じ取ってもいいね。」 女性の先生：「それぞれの音楽のよさは、どんなところにあるかな?」</p> <p>◇P54「私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能」 男子生徒：「地域に伝わるかけがえのない文化を、私たちも次の時代に大切に伝えていきたいね。」</p>

教科・種目名 音楽・器楽 調査研究事項

別表4

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
生徒の主体的な学習を促すページ(数)・印・表記など	<p>◇目次や P8及びP9の「学習マップ」、「ACTIVE!」のロゴで主体的・協働的に学ぶ具体的な内容を示している。</p> <p>◇巻末に全校合唱に取り組める学年共通の教材を掲載している。</p> <p>◇主体的な学習を促すため「まなびリンク」のWeb教材にアクセスする二次元コードに「見る」「聴く」「記録する」のマークを付してコンテンツの内容を示している。</p> <p><b>【1年】</b> P18 「夏の思い出」 P22 「赤とんぼ」 P44 「春」 第一楽章 P55 「日本とアジアをつなぐ音」</p> <p><b>【2・3年上】</b> P10～11 「生命が羽ばたくとき」 P12～13 「You Can Fly!」 P16～19 「浜辺の歌」 P20～23 「早春賦」 P32、P33 「リズムパターンをつくろう」 P36～39 「小フーガ ト短調」 P40～43 「交響曲第5番 ハ短調 作品67」 P44～46 「ボレロ」 P47 組曲「惑星」から第1曲「火星」 P51 「唱歌を用いて『越天楽』を体験しよう」 P56～57 「能の音楽を体験しよう」 P58～61 「郷土の音楽や芸能」 P84 全校合唱「故郷（混声三部合唱）」</p> <p><b>【2・3年下】</b> P10～15 「花」 P16～19 「荒城の月」 P20～21 「帰れソレントへ」 P28～29 「指揮をしてみよう」 P30～31 「言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう」 P34～36 「ブルタバ（モルダウ）」 P37 交響詩「フィンランディア」 P38～41 オペラ「アイーダ」から 第2幕 第2場 P42・45 歌舞伎「勸進帳」 P46～47 長唄「勸進帳」を歌おう P50～51 世界のさまざまな芸能や音楽 P52 表現の仕方を調べてみよう P84 全校合唱「故郷（混声四部合唱）」</p> <p>◇「⇔比べてみよう」で複数の教材を比較し音楽を形づくっている要素の働きを考えるガイドをしている。</p> <p><b>【1年】</b> P16 「DO-RE-MI（ドレミの歌）」⇔「エーデルワイス」（書込枠） P17 「夢の翼」⇔P32 「あの丘の向こうから」 P18 「夏の思い出」⇔P22 「赤とんぼ」 P26 「明日を信じて」⇔P28 「飛び立とう君の空へ」 P34 「ソーラン節」⇔P35 「かりぼし切り歌」 P48 「魔王（シューベルト）」⇔P49 「魔王（ライヒャルト）」 P52 箏曲「六段の調」⇔P 56尺八曲「鹿の遠音」＋「日本とアジアをつなぐ音」</p> <p><b>【2・3年上】</b> P16 「浜辺の歌」⇔P20 「早春賦」 P28 「そよぐ風の中で」⇔P30 「この星のどこかで」 P36 「小フーガ ト短調」⇔P40 「交響曲第5番 ハ短調作品67」 P44 「ボレロ」⇔ P47 組曲「惑星」から第1曲「火星」</p>	<p>◇主体的な学習を促すため「まなびリンク」の二次元コードに「見る」「聴く」「知る」のマークを付して学習をサポートするコンテンツを示している。</p> <p>◇巻末に、主体的に学ぶことができるリコーダー運指表、ギターコードダイヤグラムなどを楽器別に4ページの折り込みページで挿入している。</p> <p>◇音楽のおくりもの1年、2・3年上、2・3下の教材とリンクした名曲旋律集を記載している。P98～101</p>	<p>◇P8の学習内容を示した学びの地図と「学びのコンパス」の見出しで主体的・協働的に学ぶ具体的な内容を示している。</p> <p>◇主体的な学習を促すため、Web教材にアクセスする二次元コードに「動画」「音源」「創作ツール」「文章、ワークシート」のマークを付してコンテンツの内容を示している。</p> <p>◇各教材名の右に、目標を達成するために注目するポイント（考え方）が、吊り下げ看板のような図で記されている。</p> <p><b>【1年】</b> ◇「作者からのメッセージ」を記載し、生徒たちの心情に訴えかける内容になっている。（「We' ll Find the Way」「その先へ」） ◇生徒役キャラクターが、生徒の声を代弁する吹き出しがあり、学習内容に取り組むのに後ろ向きな生徒が取り組みやすいセリフとなっている（例）P15 「最近、声を出しづらい時があるな。」 「自分の歌いやすい音域を見つけて歌うといいね。」</p> <p>◇「確認しよう」や「深めよう！」で、学習内容の理解を深める工夫をしている。</p> <p>◇ワークシートや音源に繋がる二次元コードを多く配置し、主体的に学べる工夫への配慮がある。</p> <p><b>【2・3年上】</b> P21 「『夏の思い出』尾瀬の自然について」 P25 「『荒城の月』竹田市の岡城址について」 P27 「『サンタルチア』ナポリについて」 P35 「『Let' s Create』手拍子と足踏みによる音楽」 P37 「『フーガ ト短調』聖ヤコビ協会内部の全周画像」 P45 「『オーケストラの楽器』横浜シフォニエッタ／神奈川フィルハーモニー管弦楽団」 P47 「『指揮をしてみよう！』山田和樹さん」 P51 「『アイーダ』から オーケストラピット」 P95 「『音楽の約束』日本の音階」 P97 「『音楽の約束』三和音」</p> <p><b>【2・3年下】</b> P13 「『花』組歌『四季』について」 P33 「『ブルタバ（モルダウ）』チェコについて」 P43 「尺八楽『巢鶴鈴慕』尺八：スリ上げ、コロコロ、タマネ、メリ、カリ」 P48 「『謡「敦盛」から』清水寛二さん」 P65 「『ルールを守って音楽を楽しもう！』音楽著作権について」 P67 「『生活や社会の中の音や音楽』SDGsについて」 P69 「『指揮をしてみよう！』山田和樹さん」 P83 「『春に』『春に』が生まれた背景」</p> <p>◇学習したことを振り返って確認できるよう「振り返りのページ」を掲載している。</p> <p><b>【1年】</b> P91 「音楽の学びを振り返ろう」</p> <p><b>【2・3年上】</b> P16 「パートの役割と重なり方を確かめよう」 P22～23 「自分たちの表現を工夫しよう」 P29 「曲想の変化を捉えよう」 P30～31 「My Melody」 P34～35 「Let' s Create!」 P42～43 「曲の構成や曲想の変化を捉え、音楽を味わおう」 P60～61 「オペラと歌舞伎のよさについて考えよう」 P71 「世界の諸民族の音楽を探ろう」 P86 「自分たちの表現を工夫しよう」 P92～93 「音楽を形づくっている要素」 P94 「音楽の学びを振り返ろう」</p>	<p>◇主体的な学習を促すため二次元コードに「動画」「音源」「創作ツール」「文章、ワークシート」のマークを付けてコンテンツの内容を示している。</p> <p>◇巻末に、主体的に学ぶことができるリコーダー運指表、ギターコードダイヤグラムなどを各2ページずつ見開きで4ページに記載している。</p> <p>◇「Q&amp;A」コーナーに、生徒目線の疑問に対する具体的なアドバイスを示している。</p> <p>◇ギターでは、「Challenge!!」で重奏の教材が記載され、生徒の習熟度に対応できるよう工夫している。</p> <p>◇各楽器の基本的な奏法や説明に加え、ページの下部分に補足説明が数多く示されている。</p> <p>◇P43 「My Melody」 「『いろいろな奏法』を参考にして、箏の音色を生かしてもいいね。」</p> <p>◇音楽の本質を考えたり、社会や生活の中の音や音楽に目を向けるページを示している。</p> <p>P4 「音楽ってなんだろう？～じぶんの、そして、ひとのもの～」 P68 「バンドの世界をのぞいてみよう」 P7 「伝統の枠を超えて活躍する和楽器」</p>

調査項目	発行者名			
	1 7 教出		2 7 教芸	
	音 楽	器 楽	音 楽	器 楽
生徒の主体的な学習を促すページ(数)・印・表記など	<p>【2・3年下】</p> <p>P10「花」⇔P16「荒城の月」</p> <p>P20「帰れソレントへ」⇔P22「Top of the world」</p> <p>P24「旅立ちの日に」⇔P26「ぜんぶ」</p> <p>P34「ブルタバ(モルダウ)」⇔P37 交響詩「フィンランディア」</p> <p>P42 歌舞伎「勸進帳」⇔P48 文楽「義経千本桜」から「二段目 大物浦の段」</p>		<p>【2・3年下】</p> <p>P28～29「My Melody」</p> <p>P30～31「Let's Create!」</p> <p>P53 「伝統音楽の魅力を見つけよう」</p> <p>P62～63「ポピュラー音楽のジャンル(日本編)」</p> <p>P64～65「ルールを守って音楽を楽しもう!」</p> <p>P89 「音楽の学びを振り返ろう」</p> <p>P96 「音楽を形づくっている要素」</p>	
課題を解決していく能力を育成するための題材設定や問題解決を促す活動例や書き込みページなど	<p>◇キャラクターや演奏者からのアドバイスによって、問題解決の具体例を示している。</p> <p>【1年】</p> <p>◇P12 Sing! Sing!「歌うための準備」</p> <p>「おなかの筋肉を確かめてみましょう。脇腹に手をそえて、軽く咳をしてみましょう。動くのがわかりますか?」</p> <p>P13「イ(i)やエ(e)は、口の形が潰れてしまいがちです。鏡を見てチェックしましょう。」</p> <p>◇P16 「DO-RE-MI(ドレミの歌)」「エーデルワイス」</p> <p>「強弱の変化や、はずんだ感じや滑らかな感じなど、感じ方についてどのような工夫ができるか考えてみましょう。」</p> <p>◇P30～31 Sing!Sing!「変声と混声合唱」</p> <p>「私は、今、声が出にくくなっているの、音量を工夫して無理のないように歌っています。」「声の出しやすい音域が変わってきたみた。他のパートを試してみようかな。」「主旋律の声部を確かめ、曲にふさわしいバランスを考えながら表現しましょう。」</p> <p>◇P34 「ソーラン節」</p> <p>「北海道の日本海沿岸のニシン漁で歌われていた『沖揚げ音頭』が『ソーラン節』のもとになっているんだよ。作業の様子を思い浮かべ、独唱と斉唱で歌い合わせてみよう。」</p> <p>◇P35 「かりぼし切り歌」</p> <p>「母音が、コブシをつけながらのびているのがよくわかります。模範演奏をまねして一緒に歌ってみましょう。」</p> <p>◇P37「郷土のさまざまな民謡」</p> <p>「全国各地の民謡を鑑賞すると、拍節の現れ方や歌い合わせ方、コブシなどの装飾的な表現など、いろいろな特徴を聴き取れます。」</p> <p>◇P40『全体の構成を考えながら音楽を作ろう』</p> <p>「表現した言葉のどれかに、楽器の音を重ねたり動作を加えたりすると、さらにおもしろくなるね。」</p> <p>◇P49 「魔王」</p> <p>「旋律が何度か繰り返されています。『魔王』の場面をどう表現しているか聴き取ってみましょう。」</p> <p>◇P53 箏曲「六段の調」</p> <p>「唱歌を意識して聴くと音色やリズムがよくわかります。」</p> <p>「『六段の調』は緩やかな速度で始まり、段ごとにしだいに速くなり、最後の部分で速度を緩めて終わります。速度の変化を聴き取ってみましょう。」</p> <p>◇P63「きらきら星変奏曲」</p> <p>「たくさんの星が、きらきらと輝いている様子を思い浮かべたよ。主題と比べると、星の数が多くなって、輝きが増したように感じるなあ。」</p> <p>「あら、変奏1に比べ、にぎやかさがなくなって、雰囲気が変わったわ。」</p>	<p>◇リコーダーの新出運指を各教材の両サイドに記載している。</p> <p>◇キャラクターが問題解決の具体例を示している。</p> <p>P17「息を吐きだすときは、一定の量を一か所に集めるように意識します。」</p> <p>P27「実際に唱歌を唱えてみましょう」</p> <p>P31「楽器の構造についても調べてみよう。」</p> <p>P37「P34のチューニングと比べて、どのような感じがするかな?」</p> <p>P43「練習曲1」の二分音符を弾いた後は爪を次に弾く弦に当てて止め、その弦を弾くまで爪を弦から離さないようにするといよ。」</p> <p>P46「前奏に押し手を取り入れてもいいよ。」</p> <p>P63</p> <p>「1のリズムは船ペリをチャップチャップと打つ波音や波に揺られるリズム感からきているのではないか、という説があります。海に囲まれた日本の特徴的なリズムといえるかもしれません。」</p>	<p>◇各教材の記載内容に加え、生徒や先生役のキャラクターによって、問題の提起や、解決の具体例を示している。</p> <p>【1年】</p> <p>◇P15「My Voice 自分の歌声を見つけよう」</p> <p>「最近、声を出しづらいときがあるな。」「変声期を迎えたのかもしいね。詳しくは下の『変声期』を見てみよう。」</p> <p>「変声が始まっていない男子は、ソプラノやアルトのパートのほうが、音域的に歌いやすい場合があるよ。無理に声を出そうとせず、自分の歌いやすい音域を見つけて歌うといいね。」</p> <p>「深めよう!」で、学習内容の理解を深める工夫をしている。</p> <p>◇P19「旋律の特徴や曲の構成を捉えよう」</p> <p>④フェルマータの後は、強弱や速度をどのように工夫して歌えばよいか考え、いろいろな表現を試してみましょう。</p> <p>◇P20「My Melody」:「自分がつくりたい旋律のイメージを表現するために声に出したり楽器で演奏したりして音の動きを確かめながらつくろう。」</p> <p>◇P24「浜辺の歌」</p> <p>「旋律や強弱が大きく変化するのは何段目かな」「そのとき、歌詞の内容はどうなっているかな?」</p> <p>◇P26～27「自分たちの表現を工夫しよう」</p> <p>「波が打ち寄せるような感じがするのは、強弱の変化に関係ありそうだね。」</p> <p>「歌詞を音読してみると、前半部分に七五調のリズムが感じられるね。」</p> <p>「旋律の動き(音のつながり方)や強弱記号に注目して考えてみよう」</p> <p>「4段目は、1・2段目で考えたことを生かせそうだね。4段目が2段目と異なるのはどこかな?」</p> <p>⑦これまでの学習を踏まえ、あなたは、特にこの曲の3段目をどのように歌いたいですか。また、そのためにどのような工夫をしますか。</p> <p>◇P32～33「自分たちの表現を工夫しよう」</p> <p>「歌詞の内容と、曲想や音楽とを関わらせて考えてみようかな」</p> <p>「AとBの部分では伴奏の雰囲気も変わっているね。なぜだろう。」</p> <p>「AとBそれぞれの曲想を生かすには、どんな工夫をするといいかな。」</p> <p>「通して歌ったとき、全体的にまとまりが出るようにするには、何に気をつけたらいいかな?強弱にも注目してみよう。」</p> <p>◇P40～41「指揮をしてみよう!」</p> <p>「Bの部分で振りを小さくした人が多かったね。どうしてかな?」</p> <p>「Cの後半では力強い感じの音楽になったよ。演奏する楽器や強弱が関係しているのかな。」</p> <p>◇P49「曲想の変化を捉えよう」</p> <p>「それぞれの登場人物の部分では、どんな曲想が感じ取れるかな?旋律、リズム、音の降雨停と歌詞の内容をと関わらせて考えてみよう」</p> <p>「子の部分は、だんだん緊張感が高まっていく感じがするよ。「お父さん、お父さん」と子が呼ぶ部分の音の高さの変化が関係しているのかな。」</p> <p>「伴奏の形は、どこで変化しているかな」「伴奏が変化することで、雰囲気はどんな感じになるかな」</p>	<p>◇リコーダーの新出運指を各教材の両サイドに記載している。</p> <p>◇楽譜の近くに演奏のポイントを付している。</p> <p>P15「音を合わせる時のコツ」</p> <p>P7「練習のポイント」</p> <p>P38「演奏のポイント」</p> <p>P53「工夫しよう」</p> <p>P61「音色の違いを聴き比べよう」</p> <p>◇練習曲それぞれに目標を示している。</p> <p>◇題材目標を達成するために具体的な課題を教材の右側や下部に示している。</p> <p>◇学びのコンパス</p> <p>P55「曲の構成を捉えよう」</p> <p>「1と2のパートの役割はそれぞれどうなっているかな」「リズムや強弱はAの部分と比べてどう変わったかな?」</p> <p>「アとイで変化を付けるにはどう演奏するといいかな」</p> <p>◇アンサンブルでは、それぞれの楽器の組み合わせや曲について、工夫するポイントがそれぞれの教材に簡単にまとめて示している。</p>

調査項目	発行者名			
	1 7 教出		2 7 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
課題を解決していく能力を育成するための題材設定や問題解決を促す活動例や書き込みページなど	<p>【2・3年上】</p> <p>◇P14 「Active! You Can Fly!」： 「ピアノ伴奏はリズムに注目しよう。」</p> <p>◇P32 「リズムパターンをつくろう」 「つなげる箇所や数によって雰囲気が変わるね」</p> <p>◇P34 「平調子の特徴を生かして音楽をつくろう」 「平調子は箏（こと）の調弦の仕方の一つで、箏曲「六段の調」も平調子です。」</p> <p>◇P37～38 「小フーガ ト短調」 「パイプオルガンの音色について、聴き取ったことや感じ取ったことをメモしておきましょう。」 「『小フーガ ト短調 第1部』の、旋律の現れ方について、聴き取ったことや感じ取ったことをメモしておきましょう。」</p> <p>◇P47 「組曲『惑星』から 第1曲『火星』」P47 「最初に、冒頭の特徴あるリズムが繰り返されていることを聴き取りましょう。次に、そのリズムを三つの主題と関わらせ、曲想とその変化を感じ取ってみましょう。」</p> <p>◇P51 「唱歌を用いて「越天楽」を体験しよう」 「膝を打ち、拍をとりながらやってみましょう。」</p> <p>◇P57 「能の音楽を体験しよう」 「背筋を伸ばし、おなかに力を入れて、大きな声で。」</p> <p>◇P59 「郷土の音楽や芸能」 「唱歌は、演奏方法をとてもよく表しています。」</p> <p>◇P63 「どんな特徴があるかな?『アルルの女』第1組曲『前奏曲』」 「主題から何が変わったのだろうか?」「1回めの主題と違うところがあるみたい。旋律を担当している楽器は何かかな?」 「音楽を形づくっている要素や雰囲気が変化したのがよくわかりますね。」</p> <p>◇P64～65 「私たちのくらしと音楽 ～音楽著作権について～」 「作品をつくれれば、子どもでも大人でもプロでもアマチュアでも、それらに関係なく著作権は発生します。私がつくった作品にも、もちろん著作権があります。」 「では、次のケースを考えてみましょう。」</p> <p>【2・3年下】</p> <p>◇P17～18 「荒城の月」 「『荒城の月』の歌詞は、七五調でつくられています。一方『椰子の実』のように、五七調でつくられているものもあります。（最後の『いずれの日にか国に帰らん』の部分は七七です。）歌詞によるリズムやまとまりを理解しながら歌い比べてみましょう。」 「滝 廉太郎は、『花』『荒城の月』両方の作曲をしています。『花』は組歌『四季』の中の春を表した曲です。」</p> <p>◇P20 「帰れソレントへ」 「イタリア語は、おおそローマ字のように読むことができます。イタリアは地域性が強く、地方によって言葉（方言）が異なっており、『帰れソレントへ』の歌詞は、ナポリの言葉でつくられています。」</p> <p>◇P30～31 「言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう」 「ラーメンに関する言葉を使って、短いフレーズをつくってみよう。」 「ラーメンや具材を選び直し、交流したことを参考に、もう一度作品をつくってみよう。」</p> <p>◇P32～33 「CMソングをつくろう」 「CMソングにする自分の住む地域の名物や名所のキャッチコピーを決め、旋律をつくってみよう。」 「全体の構成の『例』を参考に、もっと自由に構成してみましょう。」</p> <p>◇P37 「交響詩『フィンランディア』」 「感じ取った曲想とその変化をまとめながら鑑賞してみましょう。」</p>		<p>【2・3年上】</p> <p>◇P17 「My Voice! 自分の思いを歌声にのせよう」 「『翼をください』の歌いだしの部分は、落ち着いた感じがするね。それは、音の動きがなだらかだからだね。」 「『そうだね。伴奏も、4分音符のリズムで静かな感じ。』『静かな感じだけど、強弱記号は歌も伴奏もmfだから、弱々しくなく、旋律を滑らかに歌うにはどうしたらいいかな。』」 「そのためには、行きの流れに歌声をのせるイメージで歌うといいね。」 「『翼をください』のCの部分では、変化した伴奏のリズムによって、生き生きとした感じで歌いたいな。そのためには、発声のどういうところに気を付けたいのだろうか。』」 「Cの部分は、歌詞にこめられたメッセージが、聴いている人たちによく伝わるように、一音一音をはっきり歌いたいな。」 「それはいいね。でも、一音一音を強調しすぎると、かえって言葉が伝わりづらくなると思うから、『この大空に』『翼を広げ』のように、言葉のまとまりを大切に歌いたいな。そのためには発声のどういうところに気を付けたいだろうか。』」 「主旋律と他のパートとのバランスはどうしたらいいかな。」</p> <p>◇P22～23 「自分たちの表現を工夫しよう」 「この曲は、4小節ずつの4つのフレーズからなる二部形式でできているよ。」 「合唱祭などに向けて練習するときにも、こうやってさまざまなことに注目して表現を工夫するといいいだね。」</p> <p>◇P27 「サンタ ルチア」 「イタリア語の発音では、通常『r』を巻き舌にするのが、大きな特徴だよ。」</p> <p>◇P29 「曲想の変化を捉えよう」 「どう歌ったらAとBそれぞれのよさが出せるかな。」</p> <p>◇P30～31 「My Melody」 「地域によって、言葉の抑揚が異なる場合もあるよ。」 「声に出したり、楽器で演奏したりして、音の動きを確かめながらつくろう。」 「民謡音階はどんな雰囲気かな。どういう音のつながり方にすれば民謡音階の特徴を生かせるかな。」 「蛙が池に飛び込んだ音が聞こえるくらい静かな場面を表すために、音の動きを少なくしてみようかな。」 「リズムを変えたり、他の俳句を選んだりしてもいいね。自分で俳句をつくってもいいよ。」</p> <p>◇P32 「リズムゲーム」 「楽器で演奏する場合はリズムに合う音色の楽器を選ぼう。」</p> <p>◇P33 「リズムアンサンブル/リズムチャレンジ」 「みんなでリズムを打って、音の重なりを楽しもう。」 「リズムを反復させたあと、違うリズムに変化させると新鮮な感じがするね。」</p> <p>◇P34～35 「Let's Create!」 「手拍子と足踏みの他にも、いろいろな音の出し方があるそうだね。」 「自分たちでリズムパターンを考えてつくってみてもいいね。」 「自分たちが表したいイメージに近づくように、2人でリズムを打って確かめながらつくろう。」</p> <p>◇P38～39 「交響曲第5番 ハ短調」 「第1主題と比べて第2主題はどんな感じがするかな?」 「☆の旋律は、どの部分に似ているかな?」 「第1主題が再現されたね。提示部と比べてどんな響の違いがあるかな?」 P42・43 「曲の構成や曲想の変化を捉え、音楽を味わおう。」 「2つの主題の曲想の違いは、音楽のどんな変化から感じられるかな?」 「楽器の音色、リズム、旋律の動き（音の高低）、調性（長調・短調）、強弱、構成（反復・変化）などに注目してみよう。」 「提示部と比べて、他の部分はそれぞれどんな特徴があるかな。」 「感じたことや気に入ったところよさや美しさについてなぜそう思ったのか理由も書こう。」 「この曲が長い間人々に親しまれている理由についても考えてみよう。」</p>	

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
課題を解決していく能力を育成するための題材設定や問題解決を促す活動例や書き込みページなど	<p>◇P41 「オペラ『アイダ』から 第2幕 第2場」 「物語の進行と音楽の変化について、聴き取ったことや感じ取ったことをまとめておきましょう。」</p> <p>◇P45 「歌舞伎『勧進帳』」 「みなさん、歌舞伎『勧進帳』を鑑賞してどうでしたか？ 長唄の特徴や印象に残った場面を、理由とともにまとめておきましょう。」</p> <p>◇P46～47 「長唄『勧進帳』をうたおう」 「『月の都を立ち出て』と『寄せの合方（前半部分）』の部分を演奏に合わせて、まねしてうたってみましょう。」 「背筋を伸ばし、おなかに力を入れて、大きな声で。」</p> <p>◇P48～49 「文楽『義経千本桜』から」 「歌舞伎『勧進帳』と聴き比べて、気づいたことを話し合ってみましょう。」 「太夫は、自分の床本に朱色の墨で譜（曲の節を符号で表したもの）を書き入れ、語り方を工夫しています。」</p> <p>◇P54～57 「ポピュラー音楽図鑑」 「主にジャズで用いられる、『スキヤット』と呼ばれる歌唱法があるのを知ってる？」 「『ダバダバ～』とか『ドゥビドゥビ～』とかの発音で、楽器の音をまねして歌うんだよね。スキヤットと、実際の楽器の演奏とを聴き比べてみたいな。」 「ポピュラー音楽は、現在もさまざまな音楽が影響し合いながら発展しています。個性豊かな表現を感じ取ってみましょう。」</p> <p>◇P65 「コンピュータと音楽」 「音楽の学習の中で、コンピュータを使うとどんなことができるでしょうか。例えば、コンピュータを使って、音楽をつくってみるのもおもしろいですよ。」 「コンピュータを使うと合唱のパート別練習もはかどりそうですね。自分たちだけのCDをつくるのもいいアイデアだと思います。」 「インターネットを使って、好きな音楽についていろいろ調べてみたいと思います。」</p> <p>◇P68 「音の三要素」 「オーケストラなどでチューニングする際の基準音『イ』は、440～444Hz（ヘルツ）」</p>		<p>◇P46 「指揮をしてみよう」 「どんな指揮をしたらみんなの演奏がそろうかな？ 指揮者はどういう振り方をしているんだろう。」「左のポイントを手がかりに、振り方を工夫しよう。」</p> <p>◇P59 長唄「勧進帳」から 「長唄とオペラを比べると、声や楽器の音色にどのような違いがあるかな？」</p> <p>◇P61 「オペラと歌舞伎のよさについて考えよう」 「音楽表現の相違点や共通点は、なぜ生まれるのかな？ 文化や歴史、他の芸術など音楽以外の要素とも関わらせながら考えてみよう。」</p> <p>◇P65 文楽「新版歌祭文」から「野崎村の段」 「段切の部分の音楽は、どのような感じの音楽かな？ また、この音楽は、どのような効果を生み出しているかな？」</p> <p>◇P69 「受け継ごう！ 郷土の祭りや芸能」 「郷土に伝わる祭りや芸能を他の地域の人々に紹介できるように、インターネットなどを活用して調べてもいいね。」</p> <p>◇P71 「世界の諸民族の音楽を探ろう」 「インターネットなどを活用して、詳しく調べてみようかな。」 「『聴き比べよう』の芸能や音楽についても、①～③の手順で確認し、比較してみるといいね。」</p> <p>◇P86 「自分たちの表現を工夫しよう」 「合唱祭などに向けて練習するときにも、こうやってさまざまなことに注目して表現を工夫するといいんだね。」</p> <p>【2・3年下】</p> <p>◇P25 「帰れソレントへ」 「こういう調の関係を『同主調』というんだよ。」</p> <p>◇P28～29 「My Melody」 「速度が異なると音楽の雰囲気も違ってくるね。」「速度1のゆっくりした伴奏に合わせて滑らかな旋律をつくろうかな。」「例2では、反復や変化にどんな工夫をしているかな？ リズムや音のつながり方に注目して考えてみよう。」「最初にリズムを決めてから音の高さを考えても、リズムと音高を同時に考えてもいいよ。」「声に出したり、楽器で演奏したりして、音の動きを確かめながらつくろう。」</p> <p>◇P30～31 「Let's Create!」 「つくった旋律やリズム伴奏のイメージ、曲全体の構成などを考えて、伴奏の低音や和音のリズムを変化させてもいいね。」</p> <p>◇P32～34 「ブルタバ（モルダウ）」 「ブルタバを表す旋律に注目して聴いてみよう。Fはどのようなかな？」</p> <p>◇P36～37 「ボレロ」 「小太鼓のリズムを打ってみよう。」「金管楽器、木管楽器、弦楽器、それぞれの音色が聴こえるかな。」「旋律Aと旋律Bの繰り返しと、楽器の組み合わせの変化に注目しよう。」「最後の部分に向かって、どんどん盛り上がってきたね。楽器が増えたのかな。」</p> <p>◇P38～39 組曲「展覧会の絵」から 「『プロムナード』は、冒頭の他に、第1曲と第2曲の間や、他の曲間でも形を変えて演奏されるよ。それぞれどんな感じがするか、聴いてみよう。」「ラヴェル以外の編曲者によるオーケストラ版や他の楽器編成の編曲を聴いてみてもいいね。」</p> <p>◇P50 「『中之舞』に挑戦しよう」 「笛の唱歌を歌ったり、囃子の手を打ったりするときには、しっかりとコミを取ろう。」</p> <p>◇P53 「伝統音楽の魅力を見つけよう」 「謡や義太夫節のはじめの部分を謡ったり語ったりして、長唄との違いを感じ取ってもいいね。」「それぞれの音楽のよさは、どんなところにあるかな？」</p>	

教科・種目名 音楽・器楽 調査研究事項

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
課題を解決していく能力を育成するための題材設定や問題解決を促す活動例や書き込みページなど	<p>◇「記録する」ページを示している。</p> <p><b>【1年】</b>                      P16「DO-RE-MI（ドレミの歌）」⇔「エーデルワイス」（書込枠）                      P26～27「明日を信じて」（Active!どのように変っているか調べましょう。）                      P37「郷土のさまざまな民謡」（谷茶目、こきりこ節、地域の民謡）                      P38～39「日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう」                      P40～41「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」                      P47「春」第1楽章（Active! ソネットA～Eの比較）                      P49「魔王（シューベルト）」（Active!）                      P55「日本とアジアの声によるさまざまな表現」（天台声明、八木節、江差追分、ケチャ、オルティンドール、布農族の合唱の比較）</p> <p><b>【2・3年上】</b>                      P14「You Can Fly!」（Active! 女声パートと男声パートのテキストの変化について及びピアノパートの特徴の記入欄）                      P23「旋律のまとまり」（Active!P16「浜辺の歌」⇔P20「早春賦」）                      P32～33「リズムパターンをつくろう」                      P34～35「平調子の特徴を生かして音楽をつくろう」                      P36「小フーガ ト短調」                      P43「交響曲第5番 ハ短調作品67」                      P46「ボレロ」                      P59「郷土の音楽や芸能」（話し合おう）                      P63「音楽を形づくっている要素」（どんな特徴があるかな?『アルルの女』第1組曲『前奏曲』）</p> <p><b>【2・3年下】</b>                      P19「フレーズと形式」（Active! P10「花」⇔P16「荒城の月」）                      P30～31「言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう」                      P32～33「CMソングをつくろう」                      P37 交響詩「フィンランディア」（話し合おう）                      P41「オペラ『アイーダ』から 第2幕 第2場」（話し合おう）                      P45 歌舞伎「勧進帳」（長唄の特徴）                      P48 文楽「義経千本桜」から「二段目 大物浦の段」                      P50～51「世界のさまざまな芸能や音楽」（話し合おう）                      P52「表現の仕方を調べてみよう」（話し合おう）（歌舞伎「勧進帳」⇔「オペラ『アイーダ』）                      P53「どんな特徴があるかな? プレゼンしよう」</p>	<p>◇「記録する」ページを示している。</p> <p>P30「表現の仕方を調べてみようPART-1」                      P31 発展「吹く楽器の仲間たち」                      P46「荒城の月」の前奏をつくってみよう」                      P55「表現の仕方を調べてみよう PART-2」                      P56 発展「弾く楽器の仲間たち」</p>	<p>◇P54「私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能」                      「地域に伝わるかけがえのない文化を、私たちも次の時代に大切に伝えていきたいね。」                      ◇P68「指揮をしてみよう」：「歌いながら指揮をしてもいいね。」                      「出だしのタイミングを合わせるためには、どんな振り方をするといいかな?」                      ◇考えを書き込む「ワークシート」を提示している。</p> <p><b>【1年】</b>                      P19「旋律の特徴や曲の構成を捉えよう」（学びのコンパス）                      P20「My Melody」                      P26「自分たちの表現を工夫しよう」（学びのコンパス）                      P33「自分たちの表現を工夫しよう」（学びのコンパス）                      P36「イメージと音楽」 P38「Let's Create!」                      P45「春」第1楽章（学びのコンパス）（ソネットA～Eの比較）                      P54「平調 越天楽」の響きを味わおう（学びのコンパス）                      P62「郷土に伝わる民謡を調べよう」                      P65「アジアの諸民族の音楽を探ろう」（学びのコンパス）</p> <p><b>【2・3年上】</b>                      P16「パートの役割と重なり方を確かめよう」（学びのコンパス）                      P23「自分たちの表現を工夫しよう」（「夏の思い出」の1段目から4段目までの各フレーズの表現の違い）（学びのコンパス）                      P30～31「My Melody」 P32「リズムゲーム」                      P33「リズムアンサンブル/リズムチャレンジ」                      P34～35「Let's Create!」                      P42～43「曲の構成や曲想の変化を捉え、音楽を味わおう」（交響曲第5番ハ短調の提示部、展開部、再現部、コーダの比較）（学びのコンパス）                      P61「オペラと歌舞伎のよさについて考えよう」（学びのコンパス）                      P71「世界の諸民族の音楽を探ろう」（学びのコンパス）                      P94「音楽の学びを振り返ろう」</p> <p><b>【2・3年下】</b>（学びのコンパスの印を付していない）                      P28～29「My Melody」 P37「ボレロ」                      P53「伝統音楽の魅力を見つけよう」                      P62「ポピュラー音楽のジャンル（日本編）」                      P89「音楽の学びを振り返ろう」</p>	<p>◇P43 考えを書き込む「ワークシート」を提示している。</p> <p>「My Melody 創作—日本の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう—」</p>

別表5

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
「発展」や「今日的な課題」の記載のある内容を示すページ（数）・印・表記など	<p><b>【1年】</b>                      ◇P64「コンピュータで表現しよう」：創作の発展として「つくった旋律のイメージに合った音色や速度を設定して再生したり、データを保存したりすることができます」と表記し、音楽制作アプリの例をイラストで説明している。</p> <p><b>【2・3上】</b> P65「MP3」 <b>【2・3年下】</b> P64～65「コンピュータと音楽」                      ◇SDGsのゴールアイコンを示している。</p> <p><b>【1年】</b> P58「日本とアジアの声によるさまざまな表現」（ゴール10他）  <b>【2・3上】</b> P74～75合唱「HEIWAの鐘」（ゴール16）  <b>【2・3下】</b> 巻頭P2～3 指揮者の大野和士氏のメッセージ（ゴール4）                      P78～79 合唱「世界がひとつの家族のように」（ゴール10、11）                      ◇音の三要素（音量・音高・音色）を波形図と共に示している。</p> <p><b>【2・3年下】</b> P68「音の三要素」</p>	<p>◇発展の印で記載している。</p> <p>P31「吹く楽器の仲間たち」                      P56「弾く楽器の仲間たち」                      発展の印と共にSDGsのゴールアイコンを示している。（ゴール10:人や国の不平等をなくそう）</p>	<p><b>【2・3年下】</b>                      ◇SDGsの関連記事を写真及びゴールアイコンと共に掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P66「生活や社会の中の音や音楽 仕事と音楽」において、「青年海外協力隊員」がモザンビークの人々にリコーダーを中心とした合奏を教える写真と共にSDGs（ゴール4：質の高い教育をみんなに）との関連記事を掲載している。</li> <li>・P67「楽器とSDGs」において、日本企業が中心になってNGOや住民と共に植樹活動する写真や100パーセント生分解性素材のギターピックの写真と共にSDGs（ゴール12：つくる責任つかう責任/14：海の豊かさを守ろう/15：陸の豊かさを守ろう）との関連記事を掲載している。</li> </ul>	<p>◇特に表記はない。</p>

別表6

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
他教科などとの関連のある内容を示すページ(数)・印・表記など	<p>◇印はない。</p> <p><b>【1年】</b>                      P14～15 「DO-RE-MI (ドレミの歌)」 「エーデルワイス」                      P38～39 「日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう」                      P36～37 「郷土のさまざまな民謡」                      P46～47 「春」 第一楽章                      P48～49 「魔王」                      P55 「日本とアジアをつなぐ音」                      P58～59 「日本とアジアの声によるさまざまな表現」                      P91 「郷土の民謡に用いられる楽器」                      P93 「日本とアジアのこと」 巻末                      P86～87 [国歌] 「君が代」</p> <p><b>【2・3年上】</b>                      P24～26 「花の街」                      P36～39 「小フーガ ト短調」                      P40～43 「交響曲第5番 ハ短調 作品67」                      P44～46 「ボレロ」                      P47 組曲「惑星」から第1曲「火星」                      P48～51 雅楽「越天楽」(平調) 一管弦一                      P58～61 「郷土の音楽や芸能」                      P64 「私たちのくらしと音楽～音楽著作権について～」                      P66 「劇場・音楽堂へ行こう！」                      P82 「アメージング・グレイス」                      P86～87 [国歌] 「君が代」</p> <p><b>【2・3年下】</b>                      P20～21 「帰れソレントへ」                      P22～23 「Top of the world」                      P32～33 「CMソングをつくろう」                      P34～36 「ブルタバ (モルダウ)」                      P37 交響詩「フィンランディア」                      P38～41 オペラ「アイーダ」から 第2幕 第2場                      P42～45 歌舞伎「勸進帳」                      P50～51 「世界のさまざまな芸能や音楽」                      P58～63 「日本と西洋の音楽の歩み」                      P64～65 「コンピュータと音楽」                      P68 「音の三要素」                      P91～93 「肖像で見る音楽年表」                      P86～87 [国歌] 「君が代」</p>		<p>◇印はない。</p> <p><b>【1年】</b>                      P4～5 「音楽ってなんだろう?～一生を通して楽しむもの～」                      P46～49 「魔王」                      P50～51 「日本音楽入門」                      P58～59 「日本の民謡」                      P61 「ソーラン節」                      P62 「郷土に伝わる民謡を調べよう」                      P64～65 「アジアの諸民族の音楽」                      P68 「生活や社会の中の音楽」                      P91 「音楽の学びを振り返ろう」                      P98～99 国歌「君が代」</p> <p><b>【2・3年上】</b>                      P4～5 「音楽ってなんだろう?～自分の世界を広げるもの～」                      P26～27 「サンタ ルチア」                      P28～29 「Joyful Joyful」                      P36～37 「フーガ ト短調」                      P38～45 「交響曲第5番 ハ短調」                      P48～53 「アイーダ」から                      P54～57 歌舞伎「勸進帳」                      P68～69 「受け継ごう! 郷土の祭りや芸能」                      P70～71 「世界の諸民族の音楽」                      P98～99 国歌「君が代」</p> <p><b>【2・3年下】</b>                      P4～5 「音楽ってなんだろう?～寄り添ってくれるもの～」                      P16～18 「花の街」                      P24～25 「帰れソレントへ」                      P26～27 「Hey Jude」                      P32～34 「ブルタバ (モルダウ)」                      P35～37 「ボレロ」                      P38～39 組曲「展覧会の絵」から                      P40～41 「社会を映し出す音楽」                      P51 「沖縄の伝統芸能『組踊』に親しもう」                      P52～53 「伝統音楽の魅力を見つけよう」                      P54～55 「私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能」                      P56～57 「世界の諸民族の音楽」                      P64～65 「ルールを守って音楽を楽しもう！」                      P90～95 「耳でたどる音楽史」                      P98～99 国歌「君が代」</p> <p>◇鑑賞教材には+αとして「この頃、日本では…!？」として歴史的出来事を表記している。</p>	<p>◇巻末ページ                      「楽しもう! 和楽器の音楽」                      ◇日本の伝統音楽の歴史的背景や関係する言葉が記載されている。</p> <p>◇各楽器の由来や時代等を各楽器の最初に記載している。</p> <p>◇P4～5 「音楽ってなんだろう?～じぶんの、そして、ひとのもの～」</p>
特別の教科 道徳との関連のある内容を示すページ(数)・印・表記など	<p>◇印はない。</p> <p>◇[郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度][我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度][感動、畏敬の念]等を支える歌唱曲や鑑賞曲を掲載している。</p> <p>◇我が国の自然や四季の美しさを味わえる教材を日本の歌「みんなの歌」とロゴマークを付け美しい資料や写真と共に掲載している。</p>		<p>◇印はない。</p> <p>◇[郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度][我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度][希望と勇気、克己と強い意志][友情、信頼][自然愛護][礼儀][国際理解]等を支える歌唱曲や鑑賞曲を掲載している。</p> <p>◇我が国の自然や四季の美しさを味わえる教材を「心の歌」[歌い継ごう日本の歌]とロゴマークを付け美しい資料や写真と共に掲載している。</p>	

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
<p>特別の教科 道徳との関連のある内容を示すページ(数)・印・表記など</p>	<p>【1年】 P18～21「夏の思い出」 P22～23「赤とんぼ」 P86～87〔国歌〕「君が代」：FIFA ワールドカップカタール 2002 の試合前の写真や神奈川県鎌倉市の細石（さざれいし）の写真や、歌詞の大意と共に楽譜を掲載している。 ◇〔国歌〕君が代 の説明文 「君が代」は、日本の国歌です。日本がいつまでの平和で栄えるようにとの願いがこめられています。世界の人々も、私たちと同じようにそれぞれの国や地域を大切に思い、平和や発展を願っています。そのような気持ちを互いに尊重し合うことが大切です。</p> <p>【2・3年上】 P16～19「浜辺の歌」 P20～22「早春賦」 P24～26「花の街」 P87～88〔国歌〕「君が代」：東京 2020 オリンピック（ソフトボール）の試合前の写真や島根県松江市の細石（さざれいし）の写真を楽譜と共に掲載している。 【2・3年下】 P10～15「花」 P16～18「荒城の月」 P86～87〔国歌〕「君が代」：東京 2020 パラリンピック（車いすバスケットボール）の試合前の写真を楽譜と共に掲載している。 ◇作者（芸術家）たちの希望や芸術に対する強い思いを伝えるメッセージを記載している。 【1年】 P2～3「With My Heart 音楽はメッセージ」 P4「作者の思いにふれる」 【2・3年上】 P2～3「With My Heart 音楽はメッセージ」 P4「作者の思いにふれる」 【2・3年下】 P2～3「With My Heart 音楽はメッセージ」 P4「作者の思いにふれる」 ◇全学年に〔国歌〕「君が代」を掲載し、「君が代」の歌詞の大意や、込められた願い、「国際理解・国際親善」に関しての説明文を記載している。</p>	<p>◇印はない。 ◇〔郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〕 〔我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〕等を支える曲を掲載している。 ◇P4「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」で社会における音楽が果たす役割について、ストリートピアノの写真と共に記事を記載している。 ・兵庫県神戸市 エコール・リラ ストリートピアノ ・仙台空港 復興空港ピアノ ・佐賀県小城駅に設置されているピアノ</p>	<p>【1年】 P22～23「浜辺の歌」 P28～29「赤とんぼ」 P70「涙そうそう」 P71「上を向いて歩こう」 P98～99 国歌「君が代」：「国歌・国旗と国際的儀礼」の題字で、「2021年東京オリンピックの開会式で、国旗掲揚に合わせて「君が代」を歌う歌手の MISIA さん」の説明文と写真を付けて歌詞の大意と共に楽譜を掲載している。） ◇国歌「君が代」の「国歌・国旗と国際的儀礼」に関する説明文 「国歌は国旗と並んで、その国を象徴されるものとされています。英語では「National Anthem（直訳すると「国への賛歌）」といっています。国歌は、国内で行われる式典や行事、大会の他、オリンピック・パラリンピックやスポーツの国際試合など、国際的な場面や場所でもよく歌われます。そこでは自国の国歌だけでなく、他国の国歌も同じように尊重することが国際的な儀礼となっています。」 【2・3年上】 P18～21「夏の思い出」 P24～25「荒城の月」 P72～73「夏は来ぬ」 P74～75「やさしさに包まれたなら」 P98～99 国歌「君が代」：「国歌・国旗と国際的儀礼」の題字を付し、2022年 サッカーワールドカップ（カタール大会）の試合前に「君が代」を歌う日本代表選手の写真を楽譜と共に掲載している。 【2・3年下】 P10～15「花」 P16～18「花の街」 P20～22「早春賦」 P23「ふるさと」 P70～71「花は咲く」 P71「椰子の実」 P98～99 国歌「君が代」（「国歌・国旗と国際的儀礼」の題字を付し、2021年東京パラリンピック（車いすバスケットボール女子）の試合前に互いの肩に手を置いて「君が代」を聴く日本代表選手たちの写真を 楽譜と共に掲載している。） ◇作者（芸術家）や演奏家たちの希望や芸術に対する強い思いを伝えるメッセージを記載している。 ◇震災からの復興を願った曲を掲載している。 【1年】P86～79「あすという日が」 【2・3年下】P70～71「花は咲く」 ◇全学年に国歌「君が代」を掲載し、「君が代」の歌詞の大意や「国歌・国旗と国際的儀礼」の題字を付して国歌が果たす国際的儀礼に関する説明を記載している。</p>	<p>◇印はない。 ◇〔郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〕 〔我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〕 〔希望と勇気、克己と強い意志〕[友情、信頼][自然愛護][礼儀][国際理解]等を支える曲を掲載している。 ◇「さっきのドラムソロやったの、誰だ？」P2～3 や「音楽ってなんだろう？～じぶんの、そして、ひとのもの～」P4～5で、芸術に対する強い思いを伝えるメッセージを記載している。</p>
<p>知的財産権についての内容を示すページ(数)・印・表記など</p>	<p>◇音や音楽と生活や社会との関わりから、コンピュータによる音楽創作や著作権法について記載している。 【1年】 ◇知的財産権の保護について、著作物があるものの明示とその取扱いについての注意を記載している。 P38～39「日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう」 「皆さんの考えや気持ちを表した音楽作品は、著作権法という法律で守られます。」 【2・3年上】 ◇教科書の著作権について裏表紙に記載している。 P64～65「私たちのくらしと音楽～音楽著作権について～」 ◇コンピュータで音楽を録音、製作・配信することについて、著作権への注意を記載している。 【1年】P64「コンピュータで表現しよう」 【2・3年上】P65「MP3とは…」 【2・3年下】P64～65「コンピュータと音楽」</p>	<p>◇教科書の著作権について裏表紙に記載している。</p>	<p>◇音や音楽と生活や社会との関わりから音楽の果たす役割を記載し著作権法についても記載している。 【1年】 P66～67「ルールを守って音楽を楽しもう！」 著作権とは、音楽を利用するとき気を付けること、音楽が生み出される仕組み 【2・3年上】 P91「生活や社会の中の音や音楽 人と人をつなぐ音楽」 【2・3年下】 P64～65「ルールを守って音楽を楽しもう！」 P66～67「生活や社会の中の音や音楽 仕事と音楽」 P96 「曲のよさをプレゼンしよう」 ◇教科書の著作権について裏表紙に記載している。  ◇コンピュータは特に取り扱っていない。</p>	<p>◇教科書の著作権について裏表紙に記載している。</p>

教科・種目名 音楽・器楽 調査研究事項

別表 7

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
ユニバーサルデザイン化に向けた取組例	<p>◇AB変型判を取り入れている。</p> <p>◇生徒が無理なく取り組める音域や難易度に配慮し教材を選択・開発している。</p> <p>◇すべての生徒の色覚特性に適応することを目指してデザインしている。</p> <p>◇色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザイン（UCD）を取り入れている。</p> <p>◇見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>◇目次はUCDにより索引しやすくなっている。</p> <p>◇楽譜のバックを白色にし、視覚支援を図っている。</p> <p>◇歌唱、創作、鑑賞の分野ごとに統一色で表し、視覚支援を図っている。</p> <p>◇総ページ数 93</p>	<p>◇AB変型判を取り入れている。</p> <p>◇生徒が無理なく取り組める音域や難易度に配慮し教材を選択・開発している。</p> <p>◇すべての生徒の色覚特性に適応することを目指してデザインしている。</p> <p>◇見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>◇楽譜バックを白色にしカラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>◇総ページ数 107</p>	<p>◇AB変型判を取り入れている。</p> <p>◇生徒が無理なく取り組める音域や難易度に配慮し教材を選択・開発している。</p> <p>◇すべての生徒の色覚特性に適応することを目指してデザインしている。</p> <p>◇特別支援教育の視点から、各ページの二次元コードから学習上必要な情報を確実に読み取れるように支援している。</p> <p>◇見やすいユニバーサルデザインフォントを採用している。</p> <p>◇歌唱、創作、鑑賞の分野ごとに統一色で表し、視覚支援を図っている。</p> <p>◇総ページ数 99</p>	<p>◇AB変型判を取り入れている。</p> <p>◇生徒が無理なく取り組める音域や難易度に配慮し教材を選択している。</p> <p>◇すべての生徒の色覚特性に適応することを目指してデザインしている。</p> <p>◇学習上必要な情報を確実に読み取れるよう支援している。</p> <p>◇見やすいユニバーサルデザインフォントを採用している。</p> <p>◇器楽と創作の分野別に統一色で示している。</p> <p>◇総ページ数 107</p>
楽譜の明瞭さ、写真や挿絵等の効果性、楽器奏法等の示し方の工夫等	<p>◇AB変型判の大きさにあわせて楽譜を掲載している。</p> <p>◇写真への歌詞の組み込みは、無地部分への配置や濃い色のバックへの白文字、写真囲みなどで工夫している。</p> <p>◇歌唱共通教材、全校合唱「故郷」には、口絵等も使って、我が国の自然や四季の美しさを感じるためのイラストや写真を大きく掲載している。</p> <p>◇〔国歌〕「君が代」は全学年共に上質な紙面で掲載している。</p> <p>◇自ら考え、幅広い価値観を養うページを写真と共に多く掲載している。</p> <p>◇「歌のアルバム」は同じ色調で統一している。</p> <p>◇鑑賞教材の学習資料は巻末に、折り込みを利用した3ページでワイドに掲載している。</p> <p>◇〔共通事項〕は「楽典」として巻末折込みページにまとめ、生徒自らが調べやすいよう示している。</p> <p>◇楽器の奏法が理解できるよう写真で解説している。</p> <p>◇2・3年下に日本と音楽の音楽年表を付している。</p>	<p>◇AB変型判の大きさにあわせて楽譜を掲載している。</p> <p>◇巻頭や巻末に演奏する楽器や、比較する楽器の写真も多く、鮮明に掲載している。</p> <p>◇楽器の奏法が理解できるよう多くの写真を掲載して解説している。</p> <p>◇箏曲譜に枠式縦譜を扱い、五線譜を併記している。後半のアンサンブルのコーナーでは二筆による箏合奏を取り入れ五線譜（1筆と2筆の2段譜）のページと別に縦譜のページを設け、白を背景としたワイドサイズで縦譜を掲載し視覚支援をしている。</p>	<p>◇AB変型判の大きさにあわせて楽譜を掲載している。</p> <p>◇写真への歌詞の組み込みは、無地部分への配置や濃い色のバックへの白文字、写真囲みなどで工夫している。</p> <p>◇歌唱共通教材は、口絵等も使って、我が国の自然や四季の美しさを感じるためのイラストや写真を大きく掲載している。</p> <p>◇国歌「君が代」は全学年共に巻末ページに掲載している。</p> <p>◇自ら考え、幅広い価値観を養うページを写真と共に多く掲載している。</p> <p>◇〔共通事項〕は「音楽の約束」として下記の巻末ページにまとめて提示し、生徒自らが調べやすいよう工夫している。</p> <p>【1年】P94～97</p> <p>【2・3年上】P95～97</p> <p>【2・3年下】P97</p> <p>◇楽器の奏法が理解できるよう写真で解説している。</p> <p>◇2・3年下に日本と音楽の音楽年表を付している。</p>	<p>◇AB変型判の大きさにあわせて楽譜を掲載している。</p> <p>◇巻頭や巻末に演奏する楽器や、比較する楽器の写真も多く、鮮明に掲載している。</p> <p>◇楽器の奏法が理解できるよう数多くの写真を掲載して解説している。</p> <p>◇箏曲譜に枠式縦譜を扱い、五線譜を併記している。前半の箏の基礎的奏法を示したページでは縦譜の背景をページ色で統一して視覚支援をしたり、縦譜に西洋の速度標語を挿入したりしながら、生徒が縦譜に親しめるよう工夫している。</p>
二次元コードの内容と数	<p>【1年】</p> <p>◇演奏動画（二次元コード数） 7</p> <p>P19「夏の思い出」 範唱</p> <p>P22「赤とんぼ」 範唱</p> <p>P25「指揮をしてみよう」（「夏の思い出」のピアノ演奏と「指揮」）</p> <p>P55「日本とアジアをつなぐ音」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「グージョン楽器紹介」</li> <li>・「グージョンの演奏『漁舟唄晩』」</li> <li>・「カヤグム 楽器紹介」</li> <li>・「カヤグムの演奏『サンジョ』」</li> </ul> <p>◇音源（伴奏やパート別カラピアノ） 7</p> <p>P38「日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう」</p> <p>P44「春」第一楽章 通奏とソネットA～E</p> <p>P47「春」第一楽章 チェンバロの発音原理</p> <p>◇創作ツール1 P39「日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう」</p> <p>◇画像 記載なし</p> <p>◇文章やワークシート3</p> <p>P27「明日を信じて」 P47「春」第一楽章 P49「魔王」</p>	<p>◇演奏動画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダー 6</li> <li>「リズムdeゴー」</li> <li>「チャイニーズ・ダンス」</li> <li>「サミングA」</li> <li>「サミングB」</li> <li>「誰も知らない私の悩み」</li> <li>「レヴェル・プレイン」</li> <li>・篠笛 2</li> <li>「吹いてみよう！」</li> <li>「たこたこあがれ」</li> <li>・篠笛と締太鼓 1</li> <li>「祭囃子」</li> <li>・尺八 1</li> <li>「音の出し方」</li> <li>・ギター 3</li> <li>「アボヤンド奏法」と「アル・アイレ奏法」</li> <li>「ストローク奏法（指でOKのような形をつくって弾く場合）」</li> </ul>	<p>【1年】</p> <p>◇演奏動画（二次元コード数） 6</p> <p>P53 雅楽「平調 越天楽」より「管弦で使われる楽器」</p> <p>吹物の合奏、吹物の各楽器（笙、箏、篳篥、尺八）</p> <p>打物の合奏、打物の各楽器（鉦鼓、鞆鼓、太鼓）</p> <p>弾物（ひきもの）の合奏、弾物の各楽器（琵琶、箏）</p> <p>P55「箏の唱歌」（「越天楽」の唱歌を歌おう）</p> <p>P57 箏曲「六段の調」（引き色、後押し）</p> <p>P61「ソーラン節」の男声と女声</p> <p>P63 日本の音階 都節音階、律音階、民謡音階、沖縄音階</p> <p>P69「見つけよう！学校の中の『気になる音』」</p> <p>バスケットボール、カラスたちの鳴き声、雨の日の駐車場、学校図書館、落ち葉掃除、風鈴、虫の声、スマートフォンのアラーム</p> <p>◇音源（伴奏やパート別カラピアノ） 19</p> <p>P11「We' ll Find the Way」歌唱パート1、歌唱パート2、カラピアノ</p> <p>P13「その先へ」歌唱パート1、歌唱パート2、カラピアノ</p> <p>P19「主人は冷たい土の中に」歌唱パート、リコーダーパート、カラピアノ</p> <p>P25「浜辺の歌」歌唱パート、カラピアノ（P23演奏と風景）</p> <p>P28「赤とんぼ」旋律、カラピアノ</p>	<p>◇演奏動画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな楽器 13</li> <li>「阿波踊り」</li> <li>「シーク、ボンボ」</li> <li>「チャンゴ」</li> <li>「よさこい祭り 鳴子」</li> <li>「イプヘケ」</li> <li>「母ヶ浦面浮立 鉦」</li> <li>「アイタ」 「バグパイプ」</li> <li>「ンビラ」 「カヤグム」</li> <li>「ガルベ・タンブラン」</li> <li>「鹿踊り 太鼓」</li> <li>「ディジェリドゥ」</li> <li>・リコーダーについて 2</li> <li>「姿勢と構え方」</li> <li>「タンギング」</li> <li>・ギター 3</li> <li>「姿勢と構え方」</li> <li>「アボヤンド奏法」</li> <li>「アルアイレ奏法」</li> </ul>

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
二次元コードの内容と数	<p>◇メッセージ 記載なし</p> <p><b>【2・3年上】</b></p> <p>◇演奏動画 7</p> <p>P16 「浜辺の歌」 範唱</p> <p>P20 「早春賦」 範唱</p> <p>P44 「ボレロ」 「ボレロ」 のリズムと楽器別主題の演奏</p> <p>P51 「唱歌を用いて『越天楽』を体験しよう」 筆策 唱歌と演奏</p> <p>P55 能「敦盛」キリから「波の打物抜いて～」の部分 実演</p> <p>P58 「郷土の音楽や芸能」 鹿踊 獅子舞</p> <p>P91 「オーケストラの楽器」 弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器</p> <p>◇音源（伴奏やパート別カラピアノ） 記載なし</p> <p>◇映像 記載なし</p> <p>◇創作ツール1</p> <p>P32 「リズムパターンをつくろう」</p> <p>◇楽譜（譜例） 記載なし</p> <p>◇文章やワークシート2</p> <p>P23 「旋律のまとめり」</p> <p>P43 「交響曲第5番 ハ短調作品67」</p> <p>◇メッセージ 記載なし</p> <p><b>【2・3年下】</b></p> <p>◇演奏動画 4</p> <p>P11 「花」 範唱</p> <p>P28 「指揮をしてみよう」（「ぜんぶ」指揮の仕方）</p> <p>P46 長唄「勸進帳」をうたおう 唄+三味線 「月の都を立ち出でて」</p> <p>P47 長唄「勸進帳」をうたおう 唄+三味線 「月の都を立ち出でて」 四つの実演例</p> <p>◇音源（伴奏やパート別カラピアノ） 1</p> <p>P34 「ブルタバ（モルダウ）」 通奏と10譜例の演奏</p> <p>◇創作ツール1</p> <p>P30 「言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう」 活動1</p> <p>◇画像 記載なし</p> <p>◇文章やワークシート1 P19 「フレーズと形式」</p> <p>◇メッセージ 記載なし</p>	<p>」と「ストローク奏法（親指で弾く場合）」</p> <p>・箏 3</p> <p>「角爪（生田流）」</p> <p>「丸爪（山田流）」</p> <p>「六段の調 三段の冒頭」</p> <p>・三味線 1</p> <p>「基本的な奏法」</p> <p>・太鼓 5</p> <p>かまえ方と打ち方</p> <p>「正対がまえ 長胴太鼓 やぐら台」</p> <p>「正対がまえ 長胴太鼓 伏せ台」</p> <p>「正対がまえ フチ打ち」</p> <p>「正対がまえ 締太鼓 立奏台」</p> <p>「正対がまえ 締太鼓 座奏台」</p> <p>◇音源（伴奏）</p> <p>・リコーダー 4</p> <p>アーティキュレーション</p> <p>「ノンレガート奏法」</p> <p>「スタッカート奏法」</p> <p>「テヌート奏法」</p> <p>「レガート奏法」</p> <p>・三味線 3</p> <p>「本調子」</p> <p>「二上り」</p> <p>「三下り」</p> <p>◇創作ツール 2</p> <p>・楽器と唱歌によるパッチワーク</p> <p>「構成と演奏の例1」 「構成と演奏の例2」</p> <p>◇画像 2</p> <p>「手作りの横笛」</p> <p>「打楽器 小太鼓・大太鼓」</p> <p>◇文章やワークシート なし</p> <p>◇メッセージ なし</p>	<p>P31 「夢の世界を」 ソプラノ、アルト、男声、カラピアノ</p> <p>P35 「君をのせて」 ソプラノ、アルト、男声、カラピアノ</p> <p>P39 「Let's Create!」 作例（林）</p> <p>P71 「涙そうそう」 カラピアノ/「上を向いて歩こう」 カラピアノ</p> <p>P73 「友達の友達」 カラピアノ</p> <p>P75 「Yes!!」 カラピアノ</p> <p>P77 「1/6の夢旅人2002」 カラピアノ</p> <p>P79 「unlimited」 カラピアノ</p> <p>P81 「天球図」 カラピアノ</p> <p>P83 「大切なもの」 カラピアノ</p> <p>P85 「星座」 カラピアノ</p> <p>P87 「あすという日が」 カラピアノ</p> <p>P89 「COSMOS」 カラピアノ P99 「君が代」 ピアノ音源</p> <p>◇音源（音楽を形づくっている要素） 1</p> <p>P93 「音楽の形づくっている要素」 の働きを確認しよう 「ちょうちょう」 の旋律、音色（リコーダー）、音色（ピアノ）、リズム、速度（♩=60）、速度（♩=120）、旋律、テクスチュア（1）、テクスチュア（2） 強弱（mp）、強弱（ff）</p> <p>◇映像 1 P23 「浜辺の歌」 範唱と風景</p> <p>◇創作ツール 2</p> <p>P21 「My Melody」 創作ツール</p> <p>P39 「Let's Create!」 作品例（林）</p> <p>◇楽譜（譜例） 7</p> <p>P43 鑑賞「春」 第一楽章 A～E譜例</p> <p>P47 鑑賞「魔王」 前奏の譜例/歌唱部分の譜例</p> <p>◇文章やワークシート 15</p> <p>P21 「My Melody」 ワークシート</p> <p>P27 「浜辺の歌」 ワークシート</p> <p>P33 「夢の世界を」 ワークシート</p> <p>P37 「イメージと音楽」（映画音楽） ワークシート</p> <p>P39 「Let's Create!」 ワークシート</p> <p>P43 鑑賞「春」 ワークシート</p> <p>P47 鑑賞「魔王」 ワークシート</p> <p>P54 鑑賞 雅楽「平調 越天楽」 ワークシート</p> <p>P41 山田和樹さん（指揮者）について</p> <p>P43 バッハ・コレギウム・ジャパンについて</p> <p>P43 鈴木優人さん（チェンバロ奏者）について</p> <p>P61 伊藤多喜雄さん（民謡歌手）について</p> <p>P67 音楽著作権について JASRAC</p> <p>P65 「アジアの諸民族の音楽」 ワークシート</p> <p>P93 「音楽の学びを振り返ろう」 ワークシート</p> <p>◇メッセージ 1</p> <p>P3 「音楽の一員になれる時間」 上白石萌音さん</p> <p><b>【2・3年上】</b></p> <p>◇演奏動画6</p> <p>P19 「夏の思い出」 演奏と風景</p> <p>P23 「My Voice! 鼻濁音」</p> <p>P45 「オーケストラの演奏」 各楽器の演奏</p> <p>P58長唄「勸進帳」から 演奏（男声） 演奏（女声）</p> <p>P66義太夫節「野崎村の段」から 演奏</p> <p>P67 「日本音楽に関する言葉」 三味線の細棹と太棹の音色</p> <p>P13 「道を歩けば」 ソプラノ、アルト、男声、カラピアノ</p>	<p>・箏 4</p> <p>「親指（角爪）」</p> <p>「親指（丸爪）」</p> <p>「中指・人差し指（角爪）」</p> <p>「中指・人差し指（丸爪）」</p> <p>・箏の各種奏法 12</p> <p>「かき爪（角爪）」</p> <p>「かき爪（丸爪）」</p> <p>「割り爪（角爪）」</p> <p>「割り爪（丸爪）」</p> <p>「押し手（角爪）」</p> <p>「押し手（丸爪）」</p> <p>「押放（角爪）」</p> <p>「押放（丸爪）」</p> <p>「引き色（角爪）」</p> <p>「引き色（丸爪）」</p> <p>「合せ爪（角爪）」</p> <p>「合せ爪（丸爪）」</p> <p>・三味線 2</p> <p>「基本的な奏法」</p> <p>「勘所の押さえ方」</p> <p>・太鼓 3</p> <p>「長胴太鼓を平置き台に置いた場合の打ち方（正面）」</p> <p>「長胴太鼓を平置き台に置いた場合の打ち方（横）」</p> <p>「長胴太鼓を檜台に置いた場合の打ち方」</p> <p>・篠笛 1</p> <p>「音の出し方」 「指打ち」</p> <p>・尺八 3</p> <p>「姿勢」 「口の形と呼吸」</p> <p>「音の形」</p> <p>・打楽器 16</p> <p>「クラベス」</p> <p>「シェーカー」</p> <p>「カウベル」</p> <p>「アゴゴ」</p> <p>「ボンゴ」</p> <p>「コンガ」</p> <p>「カスタネット」</p> <p>「タンブリン」</p> <p>「鈴」</p> <p>「シンバル」</p> <p>「小太鼓（スネアドラム）」</p> <p>「大太鼓（バスドラム）」</p> <p>「カホン」</p> <p>「ジェンベ」</p> <p>「ドラムセット」</p> <p>「Bodipa Beats Z」（ボディパーカッション）</p>

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
二次元コードの内容と数			<p>◇音源（伴奏やパート別カラピアノ）18</p> <p>P11 「明日を向いて」 ソプラノ、アルト、男声、カラピアノ</p> <p>P15 「翼をください」 ソプラノ、アルト、男声、カラピアノ</p> <p>P21 「夏の思い出」 ソプラノ、アルト、カラピアノ</p> <p>P25 「荒城の月」 歌唱パート、カラピアノ</p> <p>P27 「サンタ ルチア」 歌唱パート、カラピアノ</p> <p>P29 「Joyful, Joyful」 歌唱パート、カラピアノ</p> <p>P73 「夏は来ぬ」 カラピアノ</p> <p>P75 「やさしさに包まれたなら」 カラピアノ</p> <p>P77 「ハートのアンテナ」 カラピアノ</p> <p>P79 「My Own Road -僕が創る明日-」 カラピアノ</p> <p>P81 「未来への旅」 カラピアノ</p> <p>P83 「時の旅人」 ソプラノ、アルト、男声、カラピアノ</p> <p>P87 「14 -fourteen-」 カラピアノ</p> <p>P90 「蛍の光」 カラピアノ</p> <p>P95・97 「音楽の約束」 日本の音楽 三和音</p> <p>P99 国歌「君が代」 カラピアノ</p> <p>◇創作ツール2</p> <p>P31 「My Melody」 創作ツール</p> <p>P35 「Let's Create!」 創作ツール</p> <p>◇画像4</p> <p>P37 「ブルタバ（モルダウ）」 譜例 聖ヤコビ協会内部の全周画像</p> <p>P39・41 「交響曲第5番 ハ短調」 譜例</p> <p>P51 「『アイーダ』」 から オーケストラピット</p> <p>P69 「受け継ごう！ 郷土の祭りや芸能」 ユネスコ無形文化遺産について</p> <p>◇文章やワークシート15</p> <p>P16 「パートの役割と重なり方を確かめよう」</p> <p>P23 「自分たちの表現を工夫しよう」</p> <p>P29 「曲想の変化を捉えよう」</p> <p>P31 「My Melody」 ワークシート</p> <p>P35 「Let's Create!」 ワークシート</p> <p>P43 「交響曲第5番 ハ短調」 ワークシート</p> <p>P45 「オーケストラの演奏」 横浜シンフォニエッタ 神奈川県フィルハーモニー管弦楽団</p> <p>P47 「指揮をしてみよう」 山田和樹さん</p> <p>P58 長唄「勸進帳」 から 今藤政子さん</p> <p>P61 「オペラと歌舞伎のよさについて考えよう」 ワークシート</p> <p>P66 義太夫節「野崎村の段」 から 豊竹呂勢太夫さん</p> <p>P71 「世界の諸民族の音楽を探ろう」 ワークシート</p> <p>P86 「自分たちの表現を工夫しよう」 ワークシート</p> <p>P93 「音楽を形づくっている要素」 藤原道山さん</p> <p>P94 「音楽の学びを振り返ろう」 ワークシート</p> <p>◇メッセージ1</p> <p>P3 「今に生きる伝統」 松本幸四郎さん 市川染五郎さん</p>	<p>◇音源（伴奏）</p> <p>・リコーダー</p> <p>「喜びの歌」 伴奏SR+AR（ノンレガート奏法）</p> <p>（ポルタート奏法）</p> <p>「かっこう」 伴奏SR+AR</p> <p>「聖者の行進」 伴奏SR+AR</p> <p>「カノン1」 伴奏SR+AR</p> <p>「カノン2」 伴奏</p> <p>「オーラリー」 伴奏SR+AR</p> <p>「アニーローリー」 伴奏SR+AR</p> <p>「虹の彼方に」 伴奏SR+AR</p> <p>「カノン3」 伴奏</p> <p>「ラヴァーズコンチェルト」 伴奏SR+AR</p> <p>「きらきら星」 伴奏SR+AR</p> <p>「威風堂々」 伴奏</p> <p>「木かげの思い出」 伴奏</p> <p>「ふるさと」 伴奏</p> <p>「Edelweiss」 伴奏</p> <p>「春」 伴奏</p> <p>「I Got Rhythm」 伴奏</p> <p>「笑点のテーマ」 伴奏</p> <p>「海に見える街」 伴奏</p> <p>「美女と野獣」 伴奏</p> <p>「トリステータ」 伴奏</p> <p>「ブルタバ（モルダウ）」 伴奏</p> <p>「クラッピング ラプソディ 第1番」 伴奏</p> <p>「寄せの合方」 によるアンサンブル 三味線の演奏</p> <p>「パブリカ」 伴奏</p> <p>「スウィングしなげりや意味がない」 伴奏</p> <p>「木星」 伴奏</p> <p>「誰も寝てはならぬ」 伴奏</p> <p>「交響詩 フィンランディア」 伴奏</p> <p>◇創作ツール</p> <p>・Warming Up</p> <p>・旋律づくり</p> <p>◇画像 なし</p>

調査項目	発行者名			
	17 教出		27 教芸	
	音楽	器楽	音楽	器楽
二次元コードの内容と数			<p>【2・3年下】</p> <p>◇演奏動画 9                      P11 「花」演奏と風景                      P17 「花の街」歌唱パート                      P20 「早春賦」歌唱パート                      P25 「帰れソレントへ」歌唱パート                      P27 「Hey Jude」歌唱パート（主旋律、ハモリ）                      P43尺八楽「巢鶴鈴慕」尺八：スリ上げ、コロコロ、タマネ、メリ、カリ                      P45 「能」面について                      P48 謡「敦盛」から 演奏 清水寛二さん                      P50 「『中之舞』に挑戦しよう」演奏</p> <p>◇音源（伴奏やパート別カラピアノ）18                      P12 「花」ソプラノ、アルト、カラピアノ                      組歌「四季」（第2曲「納涼」第3曲「月」第4曲「雪」）                      P17 「花の街」カラピアノ                      P20 「早春賦」カラピアノ                      P23 「ふるさと」ソプラノ、アルト、男声                      P25 「帰れソレントへ」カラピアノ                      P27 「Hey Jude」カラピアノ                      P31 「Let's Create!」リズム伴奏                      P34 「ブルタバ（モルダウ）」通奏と10譜例の演奏                      P71 「花は咲く」カラピアノ                      P71 「椰子の実」カラピアノ                      P73 「忘れることなんかできない」カラピアノ                      P75 「この町が好き」カラピアノ                      P77 「旅立ちの日に」カラピアノ                      P79 「タイムリーパー」カラピアノ                      P83 「春に」カラピアノ                      P87 「大地讃頌」カラピアノ                      P88 「揚げば尊し」                      P99 国歌「君が代」カラピアノ</p> <p>◇創作ツール2                      P29 「My Melody」創作ツール（Warming up、旋律とリズム伴奏づくり）                      P31 「Let's Create!」創作ツール</p> <p>◇画像3                      P12 組曲「四季」より「納涼」「月」「雪」の楽譜                      P33～34 「ブルタバ（モルダウ）」チェコについて 譜例                      P37 「ボレロ」譜例                      P39 「組曲『展覧会の絵』から」譜例</p> <p>◇文章やワークシート8                      P29 「My Melody」ワークシート                      P31 「Let's Create!」ワークシート                      P53 「伝統音楽の魅力を見つけよう」ワークシート                      P62 「ポピュラー音楽のジャンル（日本編）」ワークシート                      P65 「ルールを守って音楽を楽しもう！」音楽著作権について                      P67 「音楽教育とSDGs」SDGsについて                      P69 「指揮をしてみよう！」山田和樹さん                      P89 「音楽の学びを振り返ろう」ワークシート</p> <p>◇メッセージ2                      P3 「今ここにしかない瞬間を大切に」反田恭平さん                      P83 「春に」詩人と作曲家（「春に」が生まれた背景）</p>	<p>◇文章やワークシート                      ・川端りささんについて                      ・大萩康司さんについて                      ・遠藤千晶さんについて                      ・My Melody「課題や条件に沿って、箏の旋律をつくりましょう」                      ・杵屋栄八郎さんについて                      ・ヒダノ修一さんについて                      ・新保有生さんについて                      ・藤原道山さんについて                      ・「千の風になって」学びのコンパス（パートの役割を考えよう）                      ・「Session I」学びのコンパス（音の重なり方の特徴を捉えよう）</p> <p>◇メッセージ                      「さっきのドラムソロやったの、誰だ？」</p>